



BOSCH

Access Professional Edition

Access PE - Personnel Management

ja

APE-Personnel Management

目次

1	概要	4
1.1	モジュール式设计	4
1.2	サーバーおよびクライアントモジュール	4
2	全般	5
2.1	概要	5
2.2	ユーザーログイン	6
2.3	Personnel Management のレイアウト	9
2.4	Personnel Management のツールバー	10
2.4.1	人物をクリア	13
2.5	登録設定	13
2.5.1	AMC 接続リーダーによる登録	15
3	Personnel Management	19
3.1	人物リスト	19
3.2	人事データ用のダイアログボックス	21
3.3	機器ステータス	22
3.4	オンラインスワイプ	24
3.5	Video Management	24
3.5.1	ビデオパネル	25
3.5.2	ライブ画像	26
3.6	Video Management	27
3.6.1	ビデオパネル	27
3.6.2	ライブ画像	28
4	人事データ	30
4.1	人事およびカードデータ	31
4.2	カードの割り当てと取り消し	35
4.3	承認	37
4.4	追加フィールド	39
4.5	時刻モデルの用途	40
5	カードの作成	42
5.1	カードの作成	42
5.2	画像の撮影またはインポート	43
5.3	カードのプレビューと印刷	46
5.4	カード領収書の印刷	48
6	レポート	49
6.1	レポート	49
6.2	レポート：ページビュー	52
7	ローカル記録	55
8	ユーザー権限	56
8.1	ユーザー権限	56
8.2	ユーザーのアクセス権限の設定	58
8.3	ユーザーハンドオーバーとワークステーションセキュリティ	58
9	UL 294 要件	60

1 概要

1.1 モジュール式設計

Access Professional Edition System (以下、「**Access PE**」) は、中小企業向けに自己完結型のアクセスコントロールを提供し、以下の幾つかのモジュールで構成されます。

- LAC Service : LAC (ローカルアクセスコントローラ - 以下、「コントローラ」) と常にコミュニケーションを取るプロセス。AMC (Access Modular Controllers) がコントローラとして使用されます。
- Configurator
- Personnel Management
- Logviewer
- Alarm Management
- Video Verification

1.2 サーバーおよびクライアントモジュール

これらのモジュールは、サーバーおよびクライアントモジュールに分けられます。

LAC サービスは常にコントローラと接続を保つ必要があります。その理由として、まずカード所有者の動き、存在、不在に関するメッセージを常に受け取るから、また新しいカードの割り当てなどのデータの変更をコントローラに送信するから、しかし主にはメタレベルのチェックを行うからです (アクセスシーケンスチェック、アンチパスバックチェック、ランダムスクリーニング)。

Configurator はサーバーでも実行される必要がありますが、クライアントワークステーションにインストールして、そこから実行することもできます。

Personnel Management および Logviewer の各モジュールは Client コンポーネントに属し、Server でも実行でき、サーバーにネットワーク接続のある異なる PC でも実行可能です。

以下のコントローラを使用できます。

- AMC2 4W (4 つの Wiegand リーダーインターフェイス) - AMC2 4W-EXT で拡張可能
- AMC2 4R4 (4 つの RS485 リーダーインターフェイス)

2 全般

2.1 概要

Access PE はアクセスコントロールシステムで、小規模および中規模の設置環境で最高度のセキュリティと柔軟性を提供するように設計されています。

Access PE の安定性と更新可能性は 3 層の設計により実現されています。**第 1 層**は管理レベルで、制御サービスが含まれます。新しいカードの登録やアクセス権限の割り当てなど、すべての管理タスクはここで実行されます。

第 2 層はローカルアクセスコントローラ (LAC) で構成され、ドアまたは入口の各グループを統制します。システムがオフラインでも、LAC は独自に b アクセスコントロールの決定を行えます。LAC は入口の統制、ドアの開閉時間の管理、または重要なアクセスポイントで PIN コードを要求する責任を持ちます。

第 3 層はカードリーダーによって構成されます。

クライアント、サーバー、カード所有者との間の通信は AES によって暗号化されています。

Access PE マルチユーザーバージョンでは、複数のワークステーションがシステムを統制できます。カスタマイズ可能なユーザー権限レベルで、アクセスを管理し、セキュリティを確保します。これにより、1 つのワークステーションでカードデータを保持しながら、別のワークステーションで従業員が建物内にいるかどうかを確認できます。

Access PE は、アクセス権限、タイムモデル、入口パラメータに対して優れた柔軟性を持つ構成を提供します。次のリストは重要な機能の概要を示しています。

迅速で簡単なカードの割り当て

カード (最大 3 枚) は、手動で、またはシリアル接続経由で PC に接続されたダイアログリーダーを使って割り当てることができます。割り当てられたすべてのカードは有効です。カードをアップグレードする場合、古いカードは自動で上書きされて無効になります。そのため、担当者がキャンセルするのを忘れて、できなかつたりした場合でも、古いカードでのアクセスを防げます。

アクセス権限 (グループ権限を含む)

各人は、グループ権限を引き継ぐことも、個別の権限を割り当てられることも可能です。権限は場所で制限することも、1 分単位の時間で制限することもできます。グループ権限は、任意またはすべてのカード所有者に対して同時にアクセス権限を付与または制限するために使用できます。グループ権限は、時刻モデルに依存する、つまり 1 日の特定の時間にアクセスを制限することができます。

アクセスの追跡

場所を定義することにより、アクセスの適切なシーケンスを追跡および強制することができます。この構成では、監視することなく、カード所有者の場所を表示することができます。

アンチパスバック

カードを読み取ると、同じアクセスポイントから入るのを一定期間ブロックすることができます。これにより、ユーザーが自分のカードを後ろに戻して未承認の人にアクセスを提供する「パスバック」を防ぐことができます。

有効期限切れのカードの自動キャンセル

訪問者や臨時スタッフの場合、限定的な期間のみアクセスが必要なことがよくあります。

カードは特定の期間のみ登録することが可能で、その期間が経過すると自動的に有効性が失われます。

時刻モデルと日付モデル

カード所有者には特定の時刻モデルを割り当てることができ、該当者がアクセスできる時間を管理できます。時刻モデルは日付モデルを使って柔軟に定義でき、特定の平日、週末、祝祭日、特別な日が、通常の仕事日とどのように異なるかを識別できます。

PIN コードによる識別

カードではなく特定の PIN コードを使って入場することもできます。

PIN コードによる確認

特に機密性の高い場所では、追加の PIN コードを求めるようプログラムすることもできます。また、この保護は時刻モデルに依存するようにも構成でき、たとえば祝祭日や定義された仕事時間外でのみ PIN コードが求められるように設定できます。

柔軟なドア管理

個別のドアモデルの柔軟なパラメータ化により、セキュリティと使い勝手の良さを絶妙なバランスを保つことができます。「シャント」つまりアラーム抑制期間を個別に指定することにより、ドアが開いている時間を制御できます。アラームシステムとの組み合わせにより、アクセスポイントをオプションでロックすることもできます。

定期的なドアのリリース

アクセスを容易にするために、ドアアラームを抑制することで、特定の期間だけドアを開けたままにすることができます。ドアリリース期間は、手動で定義することも、時刻モデルで自動で定義することもできます。

出退勤管理

アクセスポイントは、パラメータ化して出退勤管理の目的で入場および退場を管理できます。

カードの設計

Access Control システムにはグラフィカルアドインモジュール **Card Personalization (CP)** が完全装備されており、オペレーターはアプリケーションを切り替えることなくカードを作成できます。

写真の割り当て

アドインモジュール **Card Personalization (CP)** が有効でない場合でも、写真 ID をインポートしてカード所有者に関連付けることができます。

オフラインロックシステム

何らかの理由で、可用性の高いオンラインアクセスコントロールシステムが適用されていない場所でも、オフラインでロックすることができます。

ビデオデバイスの管理

入口には追加でカメラを設置して、人の出入りを識別および追跡することができます。

2.2

ユーザーログイン

次のアプリケーションが利用可能です。詳細については、該当するユーザーマニュアルを参照してください。



Personnel Management



Configurator



Logviewer



Map and Alarm Management



Video Verification

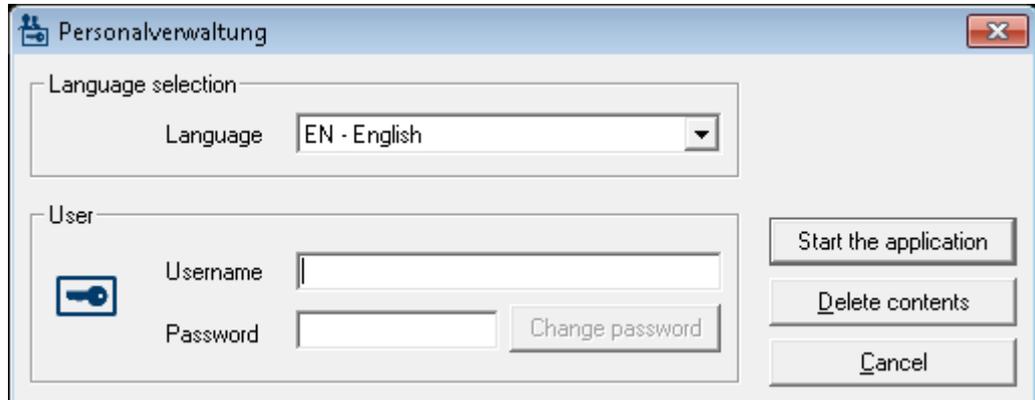
**注記!**

クライアントからのログインは、サーバーで LAC サービスが実行されている場合のみ可能です。

クライアントのログイン

システムのアプリケーションは不正な使用から保護されています。最初の使用におけるデフォルトのパスワードは次のとおりです。

- ユーザー名 : **bosch**
- パスワード : **bosch**



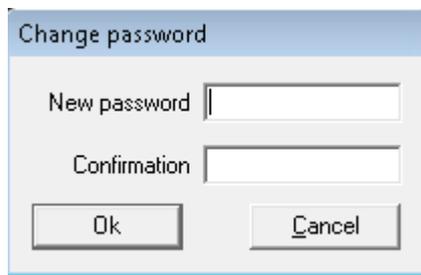
ユーザー名とパスワードを入力すると、**[パスワードの変更]** ボタンが有効になります。誤った入力を 3 回すると、その後、しばらくしてからでないと次回のログオンが行えません。これは、**[アプリケーションの起動]** ボタンと **[パスワードの変更]** ボタンに適用されます。上部のドロップダウンリストを使って、希望するインタラクションの**言語**を選択できます。デフォルトは、アプリケーションをインストールするのに使われた言語です。アプリケーションを再起動せずにユーザーを変更した場合、以前の言語が維持されます。そのため、ダイアログボックスが希望する言語で表示されない可能性があります。これを避けるには、Access PE に再度ログインします。Access PE は次の言語で実行できます。

- 英語
- ドイツ語
- フランス語
- 日本語
- ロシア語
- ポーランド語
- 中国語 (中国)
- オランダ語
- スペイン語
- ポルトガル語 (ブラジル)

**注記!**

機器名、ラベル、モデル、ユーザー権限スキーマなどのすべてのファシリティは、入力された言語で表示されます。同様に、オペレーティングシステムが制御するボタンやラベルは、オペレーティングシステムの言語で表示されます。

[パスワードの変更] ボタンをクリックしたら、次のダイアログでユーザー名とパスワードを入力します。



A dialog box titled "Change password" with a blue header. It contains two text input fields: "New password" and "Confirmation". Below the fields are two buttons: "Ok" and "Cancel".

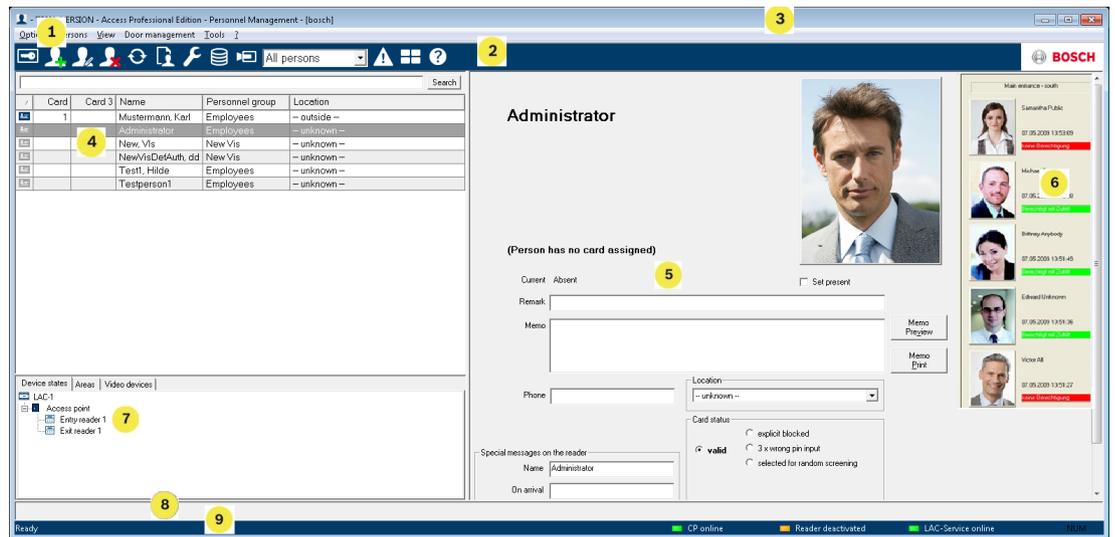
**注記!**

パスワードは必ず変更してください。

[アプリケーションの起動] ボタンはユーザーの権限を確認し、それに基づいてアプリケーションを起動します。システムがログインを認証できない場合、次のエラーメッセージが表示されます：「ユーザー名またはパスワードが間違っています!」

2.3 Personnel Management のレイアウト

ダイアログは次の部分で構成されます。



- 1 = **メニューバー** - メニューの順番に応じてダイアログ機能が表示されます。
- 2 = **ツールバー** - 重要なダイアログ機能のショートカットキーが表示されます。
- 3 = **タイトルバー** - Windows の基準に従って、ダイアログウィンドウを最小化する、または閉じるためのボタンが含まれます。登録されているユーザーの名前が角カッコで表示されます。
- 4 = **人事テーブル** - システムで認識されているすべての人とその出席ステータスを一覧表示します（承認と場所）。
- 5 = **ダイアログフィールド** - 最初にこのフィールドが開かれたとき、またはだれもユーザーがログインしていないとき、ここにはニュートラルな画像が表示されます。人事リストからエントリが選択されると、その人のデータが表示されます。
- 6 = **オンラインスワイプ** - 選択した入口でカードをスワイプした直近 5 人を一覧表示します（データベースにある画像と共に）。
- 7 = **デバイスステータス** - 設定した機器と入口およびその接続ステータスを一覧表示します。ドア制御機能を有効にします。
- 8 = **イベント表示** - 障害は、点滅する赤いバー（3 回点滅）と原因の詳細によって示されます。
- 9 = **ステータスバー** - カーソルで制御されるボタンやメニューのエントリに関する情報が表示されます。カードパーソナライゼーションプログラム（CP）、ダイアログリーダー、および LAC サービスにステータスが表示されます。

2.4 Personnel Management のツールバー

次の機能をメニューまたはアイコンボタンから利用できます。

機能	アイコン	説明
メニュー オプション		
リフレッシュ		人事リストをリフレッシュします
終了		Access PE Personnel Management アプリケーションを終了します
メニュー 人物		
新しい人物		空の人事およびカードデータダイアログを開きます
人物の変更		選択した人のデータが入った人事およびカードデータダイアログが開きます。
人物の削除		選択した人を削除します（安全チェックダイアログに同意した後）。
選択した人を LAC サービスへ伝達して、正常に完了したことを報告します。		選択した人物データを LAC サービスへ伝達して、正常に完了したことを報告します。
LAC サービスへのすべての人物の伝達		選択したすべての人物データを LAC サービスへ伝達して、正常に完了したことを報告します。
すべての人物を不在に設定		すべての人を不在に設定します（安全チェックダイアログに同意した後）。
在室しているすべての人物の場所を不明に設定		すべての人の場所を不明に設定して、それぞれの人の次回の予約でアクセスの追跡を無効にします。
人物をクリア		人物のデータベースをクリアするためのダイアログを呼び出します。
レポートの表示/印刷 (R)		レポートのリストを作成するためにダイアログを呼び出します。
	リスト制御	表示される人を、選択したグループにのみ制限します。
メニュー ビュー		

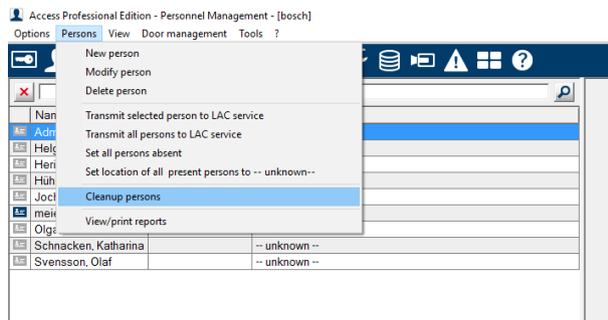
機能	アイコン	説明
記号バー		ツールバーの表示を切り替えます。デフォルト = オン
ステータスバー		ステータスバーの表示を切り替えます。デフォルト = オン
人事データ： 状態 カード番号 人事番号 会社 人事グループ 電話 場所		記号と名前の列以外に、人事概要に表示される列の選択肢です。デフォルト = 状態 - 会社 - 場所
メニュー ドア管理		
ドアの開放	これらの機能はコン	機器リストで選択した入口が表示され、開放することができます（1回限り）。
長時間開放	テキストメニューからでも	機器リストで選択した入口が表示され、開放することができます（長期）。
ドアの施錠	使用できます（該当するドア / 入口を右クリック）	機器リストで選択された入口が表示され、施錠することができます。
メニュー ツール		
ユーザーログオン		Personnel Management のログイン / ログオフ。
Configurator の実行		Configurator を実行して、Personnel Management からデータを移動します。
Logviewer の実行		Logviewer を実行して、Personnel Management からデータを移動します。
ビデオ確認の実行		ビデオ確認を実行するためのアプリケーションを起動します。
アラームとマップ管理の実行		マップビューアーとアラーム管理プロセスアプリケーションを起動します。

機能	アイコン	説明
ビデオパネル		それぞれのビデオカメラフィールドについて、ダイアログフィールドで 4 つのディスプレイが表示されます。
プロパティ		一般システム設定用にダイアログボックスが開かれます。
メニュー ? (ヘルプ)		
ヘルプトピック		このヘルプファイルを開きます。
Access Professional Edition - Personnel Management		Personnel Management に関する情報が表示されます。

2.4.1

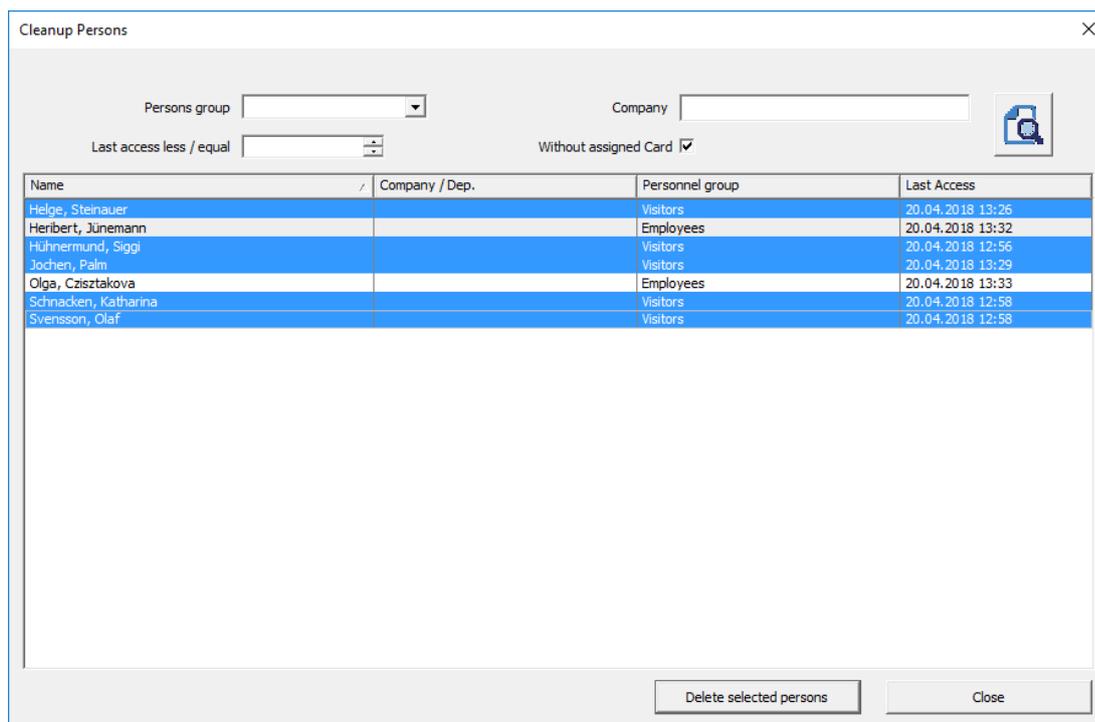
人物をクリア

システムに残す必要がなくなった人物を削除するには、[Persons (人物)] プルダウンメニューから [Cleanup persons (人物をクリア)] を選択します。



人物のリストが表示されます。さまざまなフィルター条件により、人物を選択できます。既存のユーザー権限を持つ人物は表示されません。下の例は、割り当て済みのカードを持たない人物を示しています。

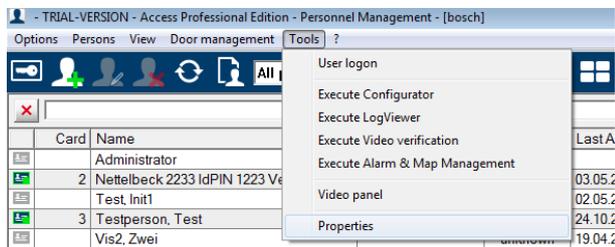
- 削除する人物を選択します。
- 下にある [Delete selected persons (選択した人物の削除)] ボタンをクリックします。
- 検索記号をクリックして、選択内容を更新します。



2.5

登録設定

[Personnel Management] > [ツール] > [プロパティ] で呼び出されるダイアログでは、どのワークステーションからでも実行できる基本設定タスク（有効化、変更）を行えます。



- 従業員にカードが割り当てられる管理施設では、登録リーダーを設置することができます。これは、製造元の仕様または機器と共に提供された仕様に従って、パラメータ化および設定する必要があります。登録リーダーが設定されると、手動のカード確認は無効化されます。対応リーダーの必須設定は次のとおりです。

リーダー名	BAUD	D	P	S
DELTA 1200 ProX RS232	9600	8	N	1
DELTA 1200 iClass RS232	57600	8	E	1
DELTA 1200 USB Hitag、Legic、Mifare	9600	8	N	1
DELTA 1200 RS232 Hitag、Legic、Mifare	19200	8	N	1
Rosslare ARD-1200EM USB	9600	8	N	1
LECTUS secure 5000 MD	9600	8	N	1

D =	データビット	N =	なし
P =	パリティ	E =	偶数
S =	ストップビット	O =	奇数

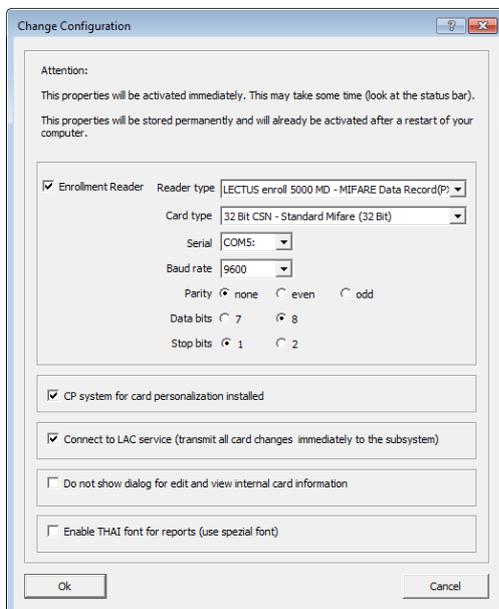


注記!

Delta 1200 シリーズと Rosslare ARD-1200EM シリーズは UL によって評価されていません。
結果

- **チップカードシステム**

カード技術を表示します - MIFARE classic および Hitag1 を Access PE で使用できます。



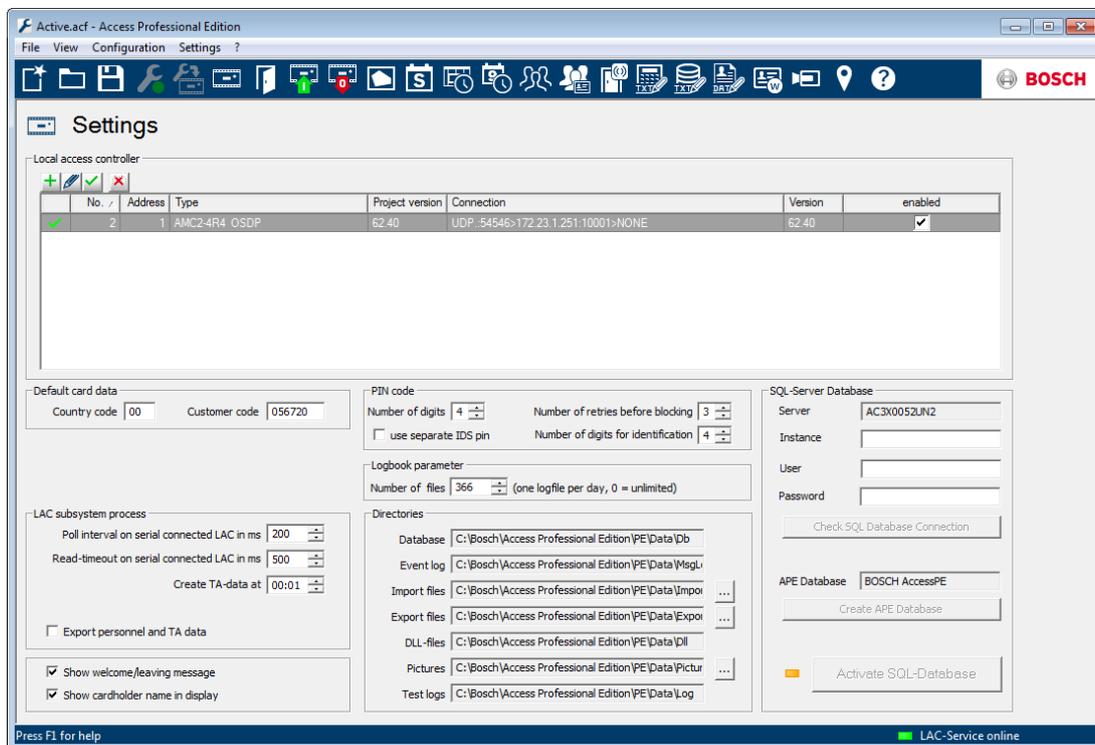
- システムにオプションの **Card Personalization (CP)** モジュールがインストールされている場合、対応するチェックボックスが設定でオンになります。このチェックボックスをオフにすると、カードの設計/作成に関するすべての機能がブロックされます。
- 加えて、**LAC サーバーへの接続**による人事データの自動転送もオンになります。このチェックボックスは常にオンになっている必要があります。
- カード割り当て時のカード情報の表示はここで無効にできます。この表示は、デフォルト設定（Access PE Configurator の全般設定を参照）とは異なり、企業基準設定に準拠しないカードデータが求められる場合にのみ必要です。
- タイ語とそのフォントでレポートが必要な場合は、**[レポートでタイ語のフォントを有効化]** チェックボックスをオンにします。注：これは英語の寸法でのみ機能します。

2.5.1

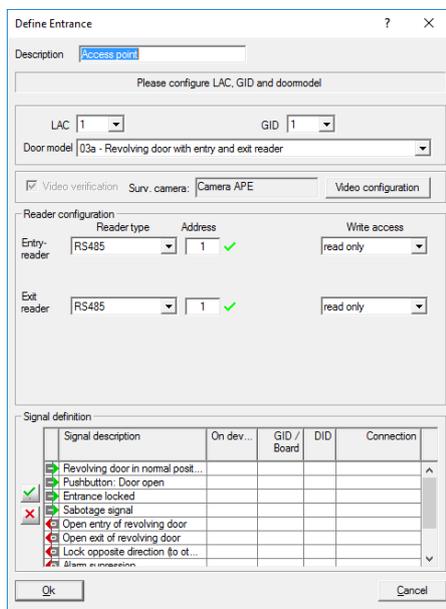
AMC 接続リーダーによる登録

少なくとも 1 つのリーダーが、登録のためのドアモデルである **ドアモデル 06c** で構成されていることを確認してください。

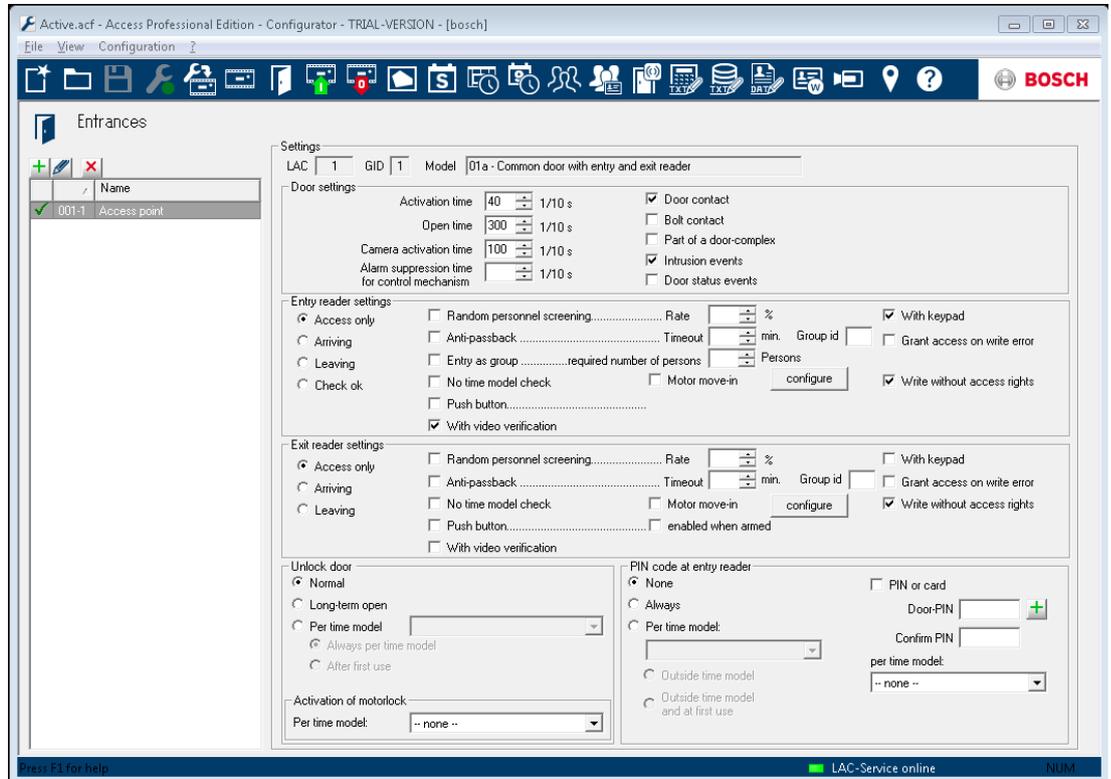
- **[Configurator]** を起動して、**[ローカルアクセスコントローラ (LAC)]**（たとえば AMC2 Wiegand）を選択します。



[入口] のシンボルをクリックし、新しい入り口リーダーを追加します。



[入口] ダイアログウィンドウが開きます。

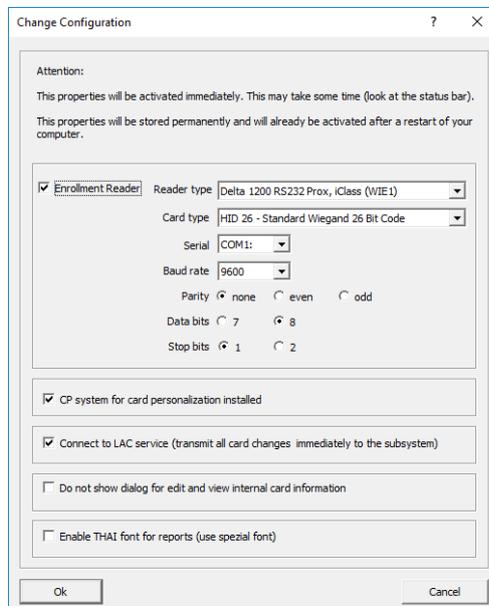


このダイアログでは、以下を行います。

- [説明] の入力 (「登録リーダー AMC」など)
 - LAC およびグループ ID (GID) の選択
 - リーダータイプ (たとえば、Wiegand) の選択
 - カードリーダーのアドレスとして、1 ~ 8 の数字の選択
- [OK] をクリックし、登録構成に準拠するようにします。

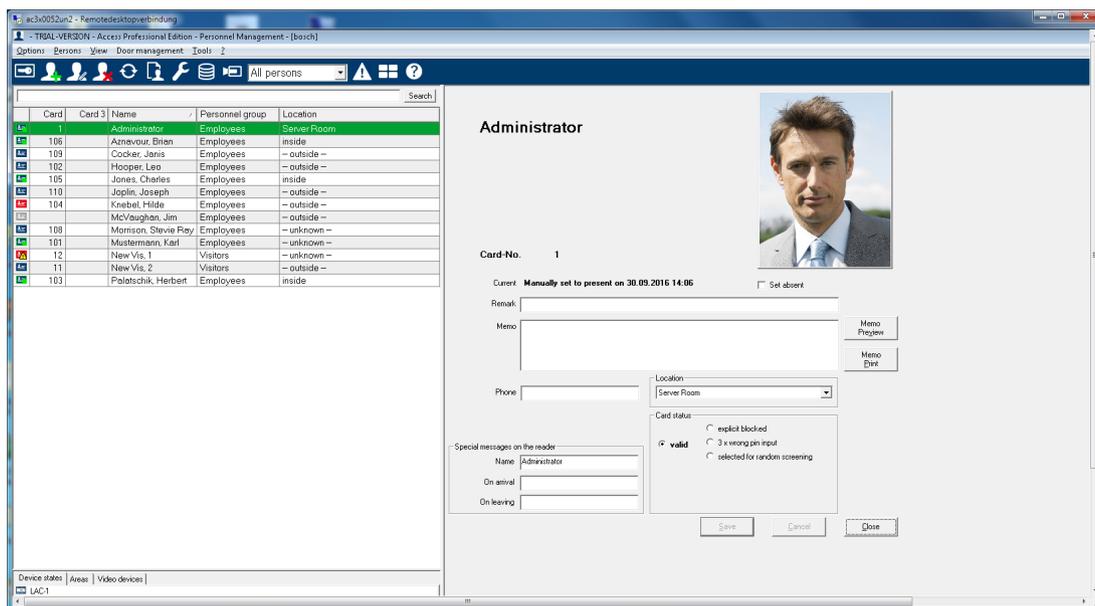
構成された登録リーダーを特定のワークステーションに割り当てるには、APE クライアントに変更する必要があります。

- [ツール] > [プロパティ] を選択します。



利用可能な登録リーダーを選択し、登録プロセスを有効にします。

登録リーダーがオンラインであることを確認してください。
 すぐに応答がない場合、[人事管理] ダイアログを再起動します。



3 Personnel Management

このダイアログはワークステーションのメインアプリケーションです。データの保存および編集フェシリティとともに、個々の人物の場所とその人に対して実施されているブロックが表示されます。ドア制御機能と機器の状態表示を介してシステム監視プロセスを実行することもできます。

3.1 人物リスト

人物リストには、システムに認識されているすべての人物が含まれています。デフォルトでは、姓、名、および会社または部署がリストされます。別個の記号列により、人物またはカードの状態に関する追加の詳細が次のように提供されます。

	人物にカードがありません
	人物は不在です
	人物は在室しています
	人物は不在であり、ブロックされています。ダイアログには点滅する光も表示されます。
	人物は在室しており、ブロックされています。ダイアログには点滅する光も表示されます。

Card	Name	Personnel group	Location
1	Administrator	Employees	Server Room
106	Aznavour, Brian	Employees	inside
109	Cocker, Janis	Employees	-- outside --
102	Hooper, Leo	Employees	-- outside --
105	Jones, Charles	Employees	inside
110	Joplin, Joseph	Employees	-- outside --
104	Knebel, Hilde	Employees	-- outside --
	McVaughan, Jim	Employees	-- outside --
108	Morrison, Stevie Ray	Employees	-- unknown --
101	Mustermann, Karl	Employees	-- unknown --
12	New Vis, 1	Visitors	-- outside --
11	New Vis, 2	Visitors	-- unknown --
103	Palatschik, Herbert	Employees	inside

列 [記号]、[名前]、[会社/部署] のあるデフォルトのリストビューは、ワークステーションごとにカスタマイズすることができます。[表示] > [人事データ] メニューを使用して、その他の列の追加や削除を行うことができます。表示される列にはチェックマークが付いており、選択するたびにオンとオフが切り替わります。

次の追加の列が利用可能です。

- カード番号
- 人事番号
- 会社/部署
- 人事グループ
- 電話
- 場所 (エリアを定義した場合)
- 画像
- 前回のアクセス



注記!

リストボックスの現在の幅によっては、選択した列の一部が表示されない場合もあります。その場合は、ボックスと列の幅や順序を必要に合わせて調整してください。列の順序は列ヘッダーをドラッグアンドドロップすることによって変更できます。人物リストの幅を大きくすると、当然ながらダイアログボックスの右側の幅に影響します。

ツールバーには人物リストをフィルターするためのコンボボックスがあります。デフォルトでは [すべての人物] が [従業員] または [訪問者] に表示されます。



注：他のグループを追加する場合（VIP など）、このグループのメンバーは自動的に [従業員] の下にリストされます。

人事リストには [画像] 列を追加できます。[表示] > [人事データ] > [画像] メニューを使用して、列の非表示と表示を切り替えることができます。

この列は右端に追加されるため、表示するために人事リストをスクロールしなければならない場合があります。その他の列は非表示にしなければならない場合があります。

	Card	Name	
	106	Brocker, Heinz	
	109	Büsing, Gerhard	
	102	Christian, Thomas	
	105	Dabs, Andreas	
	110	Delesen, Frank	
	104	Fallmann, Inna	
		Fuhs, Wolfgang	
	108	Gilleßen, Harald	
	101	Hannewald, Joachim	
	12	hans	
	11	Herrmann, Falk	
	103	Krimmel, Thorsten	



注記!

画像は列の高さに合わせられるため、表示が小さいと人物の識別が難しくなる可能性があります。画像を表示する主な理由は、まだ写真を保存していない人物を素早くチェックできるようにすることです。

3.2 人事データ用のダイアログボックス

人物リストでエントリーを選択すると、その人物のデータがダイアログフィールドの右側に表示されます。

The screenshot shows a dialog box titled "Victor All". It contains the following elements:

- Name:** Victor All
- Card-No.:** 577
- Current:** Present since 08.05.2009 15:50. There is a checkbox for "Set absent".
- Remark:** A text input field.
- Memo:** A larger text area with "Memo preview" and "Memo print" buttons to its right.
- Phone:** A text input field.
- Location:** A dropdown menu currently showing "in der Firma (anwesend)".
- Special messages on the reader:**
 - Name:** Victor All
 - On arrival:** Good morning
 - On leaving:** Good bye
- Card status:** Radio buttons for "valid" (selected), "explicit blocked", "3 x wrong pin input", and "selected for random screening".
- Buttons:** "Save", "Cancel", and "Close" at the bottom.

最も重要な個人データを表示する以外に、さまざまな機能をこのダイアログから呼び出すことができます。

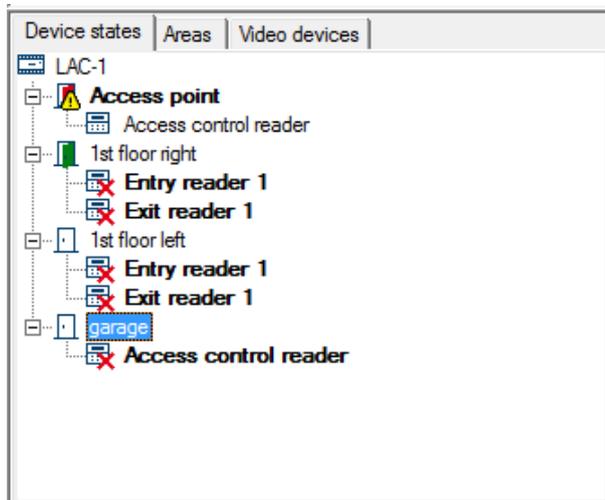
表示 / 機能	説明
名前 (タイトル - 名 - 姓)	表示のみ。変更は 変更ダイアログ を使用して行うことができます（「人事およびカードデータ、ページ 31」）。
会社/部署	
人事番号	
カード番号	
写真	
現在のステータス	日付を含む在室 / 不在の表示。
在室に設定、不在に設定	現在のステータスに応じて、ここで人物を在室または不在に設定できます。
注記	この人物に関するテキスト注記を自由に記入する場所。最大 50 文字。
メモ	この人物へのテキストメモを自由に記入する場所。最大 300 文字。
メモのプレビュー / メモの印刷	事前に定義した印刷レイアウトに従ってメモテキストを表示または印刷できます。
電話	この人物の電話番号または連絡方法。

表示 / 機能	説明
場所	人物の場所の表示と変更。任意のエリアまたはデフォルト値 “不明” を選択できます。
リーダー上の特別なメッセージ	各表示行に最大 20 文字を含めることができます。
名前	適切に設置されたリーダーによって表示される人物の名前。
到着時	特別な歓迎テキスト。
出発時	特別な送別テキスト。
カードステータス	
<ul style="list-style-type: none"> - 有効 - 明示的にブロック済み - 3 回の不正な PIN 入力 - ランダムスクリーニング用に選択済み 	カードステータスの表示と変更。ここでは次のカードパラメータを設定できます。

3.3 機器ステータス

Personnel Management のメインダイアログにある 3 番目のエリアは、人物リストの下にある機器ステータス表示です。

ログメッセージのリストの横にあるのは機器ステータス表示です。



機器のステータスは次の記号によって示されます。

機器ステータス	シンボル
コントローラはオンラインです	
コントローラはオフラインです	
コントローラへの接続を判別できません	

機器ステータス	シンボル
リーダーへの接続は OK です	
リーダーへの接続に障害があります	
リーダーへの接続を判別できません。	

動作モード/ ドアステータス	標準 の記号	永続的に開放 の記号	永続的に施錠 の記号
閉じられている			
開放標準			なし
開放タイムアウト		なし	なし
開放故障		なし	
不明			
欠陥			

接続の障害は、ダイアログの下端にあるバーがダイアログの開始時に赤色に点滅することによっても示されます。

Connection to LAC 1, 2, 3, 4 out of order!



注記!

Wiegand リーダーのステータス表示は誤解を招く可能性があります。ステータス要求に回答できないため、パラメータ化された Wiegand リーダーはコントローラがオンラインである限り、オンラインとして示されます。

コントロール

この機能がアクティブなのは、ログイン中のユーザーが **ドア制御権限**を持っている場合だけです（「ユーザー権限, ページ 56」）。

この機能がアクティブなのは、ログイン中のユーザーが **ドア制御権限**を持っている場合だけです。機器ステータスリストで選択したエントリ（接続が存在する）には、コンテキストメニュー（右クリック）または **[ドア管理]** メニューによってコマンドを付与できます。

Open Main entrance
Long-term open Main entrance
lock Main entrance

選択したエントリの名前がコンテキストから読み取られます。

- 〈入口〉 を開く
選択した入口が 1 回開きます（1 人の人物向け）。
- 〈入口〉 の長時間開放
選択した入口がより長い期間開きます。
- 〈入口〉 をロック
選択した入口が施錠されます。

3.4 オンラインスワイプ

機器の状態リストにあるエントリのコンテキストメニューには、[オンラインスワイプ]という機能もあります。これを選択すると、ダイアログフィールドの右側にペインが開きます。

このエリアには、選択した入口に関する予約とメッセージの履歴が表示されます。この入口のいずれかのリーダーでカードを最後にスキャンした人物が、アーカイブ画像、タイムスタンプ、およびアクセスに関するシステムの決定とともにリストされます。

加えて、[メッセージ] または [情報] カテゴリに属さないメッセージ（メッセージ番号 61 – 67



を除く) が、記号でマークされてここに表示されます。

ペインの最上部には当該の入口が表示されます。機器の状態リストで異なる入口を選択した後も、最初の入口に関するオンラインスワイプビューがそのまま残ります。別の入口に関するオンラインスワイプビューに切り替えるには、その入口のコンテキストメニューで明示的に呼び出す必要があります。

アクティブな間、コンテキストメニューには[オンラインスワイプのスイッチオフ]の行があり、いつでも立ち入り履歴を再び非表示にできるようになっています。色付きで強調表示された注記は、それぞれのケースで立ち入りが許可（緑色）または拒否（赤色）されたことを示します。



最後の 5 件のメッセージまたは予約だけが表示されます。

オンラインスワイプビューがアクティブである間、表示は新しいメッセージによって頻繁に更新され、最新のメッセージが最上部に表示されます。

リストには現在の日付と前日におけるアクセス要求だけが含まれます。この期間にカードがスキャンされなかった場合、リストは空のままです。

3.5 Video Management

Access Professional Edition アクセスコントロールシステムに統合されたビデオコンポーネントは、特に注意が必要な入口で、ライブ画像をデータベースに保存された画像と比較したり周辺エリアをチェックしたりするための追加のコントロールファシリティとして使用できます。ビデオ記録を使用して特別なアラーム応答を生成したり、入口とは無関係に特定のエリアを監視したりすることもできます。

さらに、Access PE のビデオコンポーネントは次の分野でアクセスして使用できます。

- ビデオ確認：入口での付加的な光学制御
- アラーム管理：記録されたビデオシーケンスにより、特別に構成されたアラームメッセージとエントリをサポート可能
- ビデオ表示：最大 4 台の構成可能なカメラからの現在のカメラ画像を同時に再生

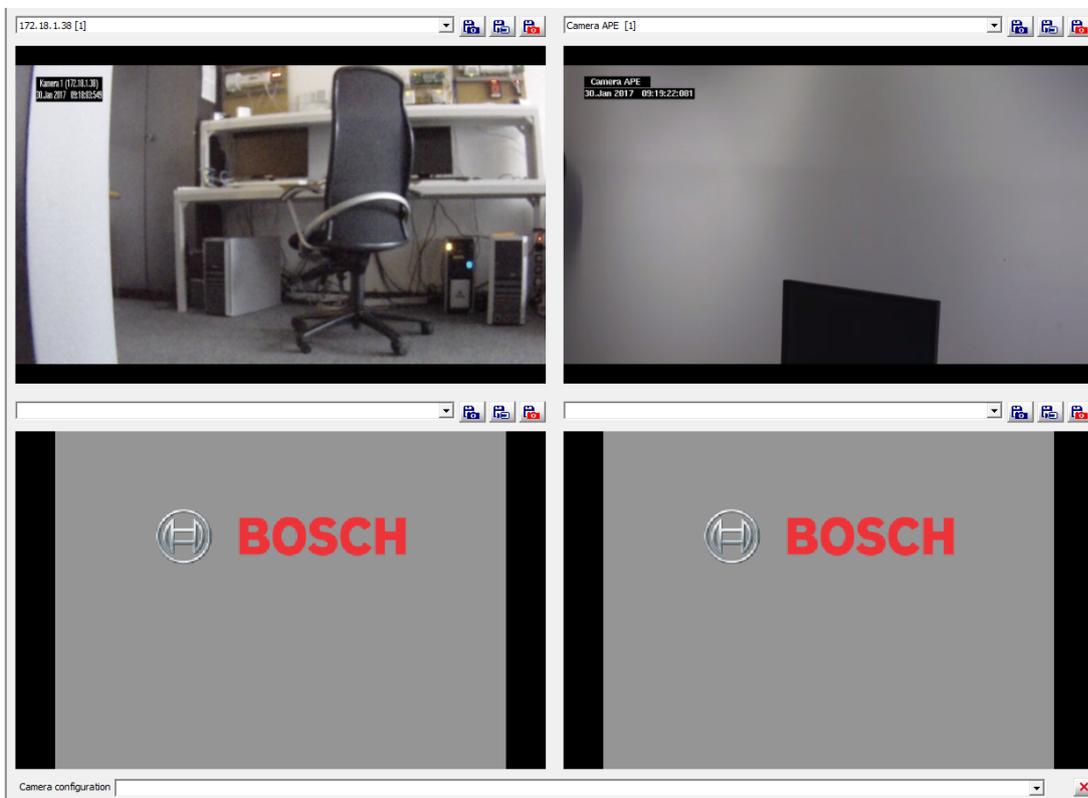
関連項目

- ビデオパネル, ページ 25
- ライブ画像, ページ 26

3.5.1 ビデオパネル



Personnel Management ツールバーの  ボタンを押すと、ダイアログフィールドが 4 つのビデオビューを示す表示に置き換わります。



ビデオパネルでは、異なる入口の最大 4 つのビデオを選択することができます。各表示ウィンドウで次の機能を使用できます。

選択リスト アクセスコントロールシステムにロードされたカメラをいつでも選択して置き換えることができます。



現在のビューの静止画像を <デバイス名>_yyyyMMddhhmmsstttt.jpg として C:\¥BOSCH¥Access Professional Edition¥PE¥Data¥Video (デフォルトのパス) に保存します。



現在のビューのビデオ記録を開始 / 終了し、<デバイス名>_yyyyMMddhhmmsstttt.vxx として C:\¥BOSCH¥Access Professional Edition¥PE¥Data¥Video (デフォルトのパス) に保存します。



(= 関心地点) 現在のビューの静止画像を作成します。ファイル名の先頭には POI_ が追加されます。マーカーとしてログブックメッセージも作成されます。

ビデオ表示用のビューのカスタマイズ

カメラの特定の選択内容と順序を保存し、後で名前によって呼び出すことができます。これにより、同じビューを手動で選択して構成する場合にかかる時間を節約できます。

まず、カメラをそれぞれのウィンドウ内に適切に配置することにより、必要なビューを手動で構成します。

次に、下部のコンボボックスを編集することによってビューに意味のある名前を付け、Enter キーを押して保存します。これらのビューは、後で同じコンボボックスから名前によって呼び出すことができます。

このようにして、オペレータはさまざまな目的（たとえば、人員の朝の出勤と晩の退社の監視）で異なるカメラビューを保存できます。保存したビューは、個々のオペレータではなくワークステーションに属します。個々のオペレータに属するものとして編集することはできません。ビューを変更するには、まずコンボボックスからそのビューを呼び出し、コンボボックスの右にある

 ボタンを使用して削除してから、カメラの位置を必要に応じて変更し、Enter キーを押して前と同じ名前でも保存します。

保存したビューはオペレータではなくワークステーションに属しているため、オペレータは同僚がカスタマイズしたビューを使用できます。

3.5.2

ライブ画像

ドア制御機能に加え、機器の状態リスト内で入口とリーダーを表示するポップアップメニューにはライブ画像を接続するためのエントリも含まれています。



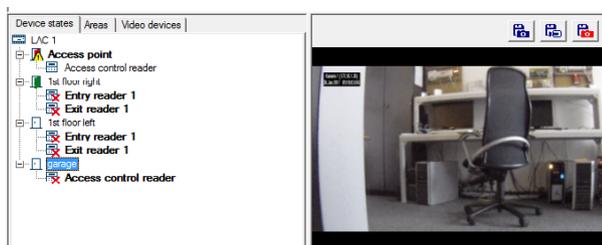
注記!

これらの機能は Logviewer の機器の状態リストでは使用できません。

この入口に割り当てられたすべての構成済みのカメラに関する一般的なエントリがあります。最大数のカメラを構成した場合、ライブ画像モード用のポップアップメニューは次のように表示されます。

- 識別カメラ
- 背面カメラ 1
- 背面カメラ 2
- 前面カメラ 1
- 前面カメラ 2

カメラを選択すると、そのライブ画像が表示されます。人事レコードを選択していない場合は、ライブ画像が（時刻の代わりに）ダイアログフィールドに表示されます。選択した場合は、ライブ画像が機器の状態リストの右に小さい形式で表示されます。



大きいライブ画像が表示されているときに人事レコードを編集用に選択すると、ライブ画像モードは小さい形式に切り替わります。

いずれかのカメラについてライブ画像機能が有効な場合、ポップアップメニューには [ビデオオフ] エントリが含まれ、デフォルトの状態を復元するために使用できます。

**注記!**

ライブ画像モードは、カメラリストの [ビデオ機器] タブで必要なリストエントリを選択することによって有効化できます。

3.6 Video Management

Access Professional Edition アクセスコントロールシステムに統合されたビデオコンポーネントは、特に注意が必要な入口で、ライブ画像をデータベースに保存された画像と比較したり周辺エリアをチェックしたりするための追加のコントロールファシリティとして使用できます。ビデオ記録を使用して特別なアラーム応答を生成したり、入口とは無関係に特定のエリアを監視したりすることもできます。

さらに、Access PE のビデオコンポーネントは次の分野でアクセスして使用できます。

- ビデオ確認：入口での付加的な光学制御
- アラーム管理：記録されたビデオシーケンスにより、特別に構成されたアラームメッセージとエントリをサポート可能
- ビデオ表示：最大 4 台の構成可能なカメラからの現在のカメラ画像を同時に再生

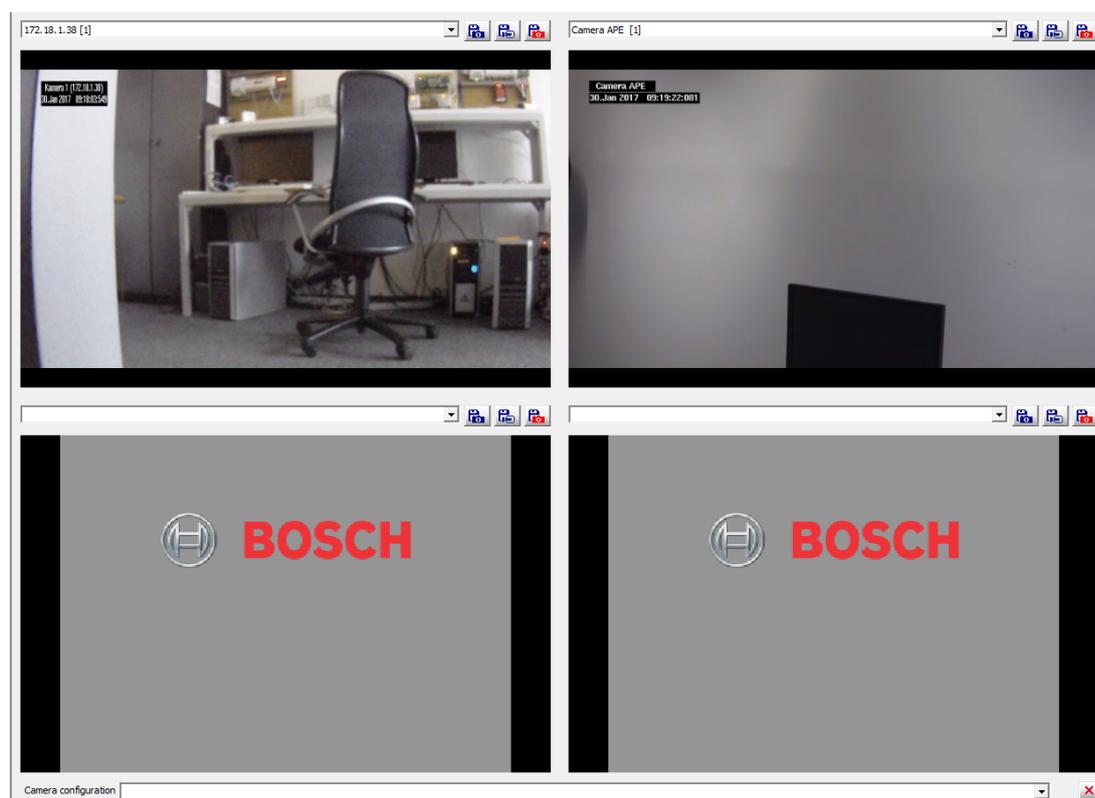
関連項目

- ビデオパネル, ページ 27
- ライブ画像, ページ 28

3.6.1 ビデオパネル



Personnel Management ツールバーの  ボタンを押すと、ダイアログフィールドが 4 つのビデオビューを示す表示に置き換わります。



ビデオパネルでは、異なる入口の最大 4 つのビデオを選択することができます。各表示ウィンドウで次の機能を使用できます。

選択リスト アクセスコントロールシステムにロードされたカメラをいつでも選択して置き換えることができます。



現在のビューの静止画像を <デバイス名>_yyyyMMddhhmsstttt.jpg として C:\¥BOSCH¥Access Professional Edition¥PE¥Data¥Video (デフォルトのパス) に保存します。



現在のビューのビデオ記録を開始 / 終了し、<デバイス名>_yyyyMMddhhmsstttt.vxx として C:\¥BOSCH¥Access Professional Edition¥PE¥Data¥Video (デフォルトのパス) に保存します。



(= 関心地点) 現在のビューの静止画像を作成します。ファイル名の先頭には POI_ が追加されます。マーカーとしてログブックメッセージも作成されます。

ビデオ表示用のビューのカスタマイズ

カメラの特定の選択内容と順序を保存し、後で名前によって呼び出すことができます。これにより、同じビューを手動で選択して構成する場合にかかる時間を節約できます。

まず、カメラをそれぞれのウィンドウ内に適切に配置することにより、必要なビューを手動で構成します。

次に、下部のコンボボックスを編集することによってビューに意味のある名前を付け、Enter キーを押して保存します。これらのビューは、後で同じコンボボックスから名前によって呼び出すことができます。

このようにして、オペレータはさまざまな目的（たとえば、人員の朝の出勤と晩の退社の監視）で異なるカメラビューを保存できます。保存したビューは、個々のオペレータではなくワークステーションに属します。個々のオペレータに属するものとして編集することはできません。ビューを変更するには、まずコンボボックスからそのビューを呼び出し、コンボボックスの右にある



ボタンを使用して削除してから、カメラの位置を必要に応じて変更し、Enter キーを押して前と同じ名前でも保存します。

保存したビューはオペレータではなくワークステーションに属しているため、オペレータは同僚がカスタマイズしたビューを使用できます。

3.6.2

ライブ画像

ドア制御機能に加え、機器の状態リスト内で入口とリーダーを表示するポップアップメニューにはライブ画像を接続するためのエントリも含まれています。



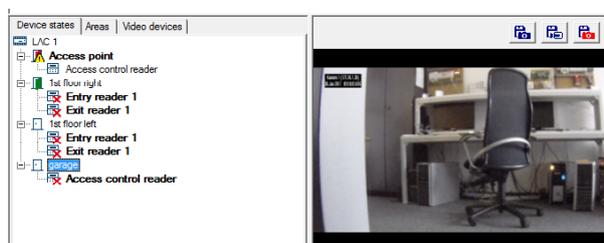
注記!

これらの機能は Logviewer の機器の状態リストでは使用できません。

この入口に割り当てられたすべての構成済みのカメラに関する一般的なエントリがあります。最大数のカメラを構成した場合、ライブ画像モード用のポップアップメニューは次のように表示されます。

- 識別カメラ
- 背面カメラ 1
- 背面カメラ 2
- 前面カメラ 1
- 前面カメラ 2

カメラを選択すると、そのライブ画像が表示されます。人事レコードを選択していない場合は、ライブ画像が（時刻の代わりに）ダイアログフィールドに表示されます。選択した場合は、ライブ画像が機器の状態リストの右に小さい形式で表示されます。



大きいライブ画像が表示されているときに人事レコードを編集用に選択すると、ライブ画像モードは小さい形式に切り替わります。

いずれかのカメラについてライブ画像機能が有効な場合、ポップアップメニューには [ビデオオフ] エントリが含まれ、デフォルトの状態を復元するために使用できます。



注記!

ライブ画像モードは、カメラリストの [ビデオ機器] タブで必要なリストエントリを選択することによって有効化できます。

4 人事データ



新しい人物を作成するには、 ボタンを使用するか、メニューの [人物] > [新規人物] から空のダイアログボックスを開きます。

注記!

ここでは新しい人事レコードの作成について述べています。既存の人事データを編集する必要がある



場合、人物リストで人物をダブルクリックするか、目的の人物を選択してツールバーの  ボタンをクリックします。開かれるダイアログボックスは同じですが、選択した人物のデータが含まれています。

Personnel data and authorizations

Additional Data | **Offline Access Authorizations**

Personnel Data | **Access Authorizations** | **User Rights**

Person

Title

Last name

First name

Date of birth

Company

Phone

Valid from until

Special function

Permission to long-term open of doors (Office mode)

Activate control function 1

Activate control function 2

Special messages on the reader

Name on display

On arrival

On leaving

Personnel group

Card data

Person has no card assigned

Personnel-No.

1. Card-No. Version

2. Card-No. Version

3. Card-No. Version

Access control data

Time model

PIN Confirm PIN

Verification

Identification

Take picture

Preview card

Print card

Print card reverse side

Import picture

Delete picture

Acknowledgement

Assign card 1

Assign card 2

Assign card 3

Delete card 1

Delete card 2

Delete card 3

OK Cancel Help

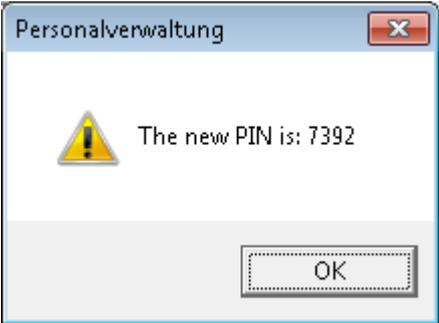
4.1 人事およびカードデータ

個人データおよび承認ダイアログには、関連するすべての個人およびカードデータだけでなく、特別なカード情報も含まれています。データベースに保存される人物での最小入力項目は、**名前**と**人事グループ**です。

以下の情報を保存することができます。

データフィールド ド/ 入力フィールド	説明
人物	
肩書	これらのデータは、肩書、名、姓の順にここに表示されます。人物リストには、肩書は表示されません。
姓	
名	
生年月日	日付は数字で入力するか、スピンドット（小さなアップ/ダウン矢印）を使用して選択することができます。
会社	会社または部署は、4 行分入力できます。改行は、Ctrl キーを押しながら Enter キーを押して入力できます。最大 114 文字。
電話	その人物の稼働状況の情報としても表示されます。最大 30 文字。
有効期間の指定	アクセスコントロールの有効期間は、ここで指定できます。空のフィールドは、有効期間に制限がないことを示しています。
人事グループ	入力が必要です。1 つの人事グループを選択する必要があります。
カードデータ	
(カードステータスの表示)	現在のカードステータスのシンボル表示。  カード割り当てなし  カード割り当て済み
人事番号	最大 6 桁の人事番号を入力する
1. カード番号	最大 6 桁のカード番号を入力する すべてのカードに、同一のアクセス承認が付与されます。
2. カード番号	
3. カード番号	
特殊機能	
ドアの長時間開放の権限 (オフィスモード)	該当する構成済みドアでオフィスモードを使用するための承認を与えます (設定マニュアルを参照)。

データフィールド ド/ 入力フィールド	説明
制御機能 1 を有効化	該当する構成済みリーダーで制御機能 1 が呼び出されます。
制御機能 2 を有効化	該当する構成済みリーダーで制御機能 2 が呼び出されます。
リーダー上の特別なメッセージ	
表示名	使用可能なカードリーダーの表示テキスト。デフォルトでは、名、姓となっています。最大 20 文字。
到着時のテキスト	到着時および出発時のカスタマイズされた表示テキストは、TA リーダーではここに入力できます。前提条件として、 [ようこそ/終了メッセージの表示] のシステムパラメータが Configurator の設定で有効になっている必要があります。最大 20 文字。
出発時のテキスト	
アクセスコントロールデータ	
時刻モデル	既存の勤務モデルを選択します。その人物は、定義された期間中のみアクセスが許可されます。
PIN	キーボードリーダーで使用する PIN 入力。PIN では、連続する数字（例：1234）や回文（例：0110）を含めることは許可されていません。PIN の全般設定は、 [Configurator] > [設定] ダイアログで行います。
PIN の検証と確認	この PIN は、 <ul style="list-style-type: none"> - システムが自動で生成するか、 - 追加のセキュリティ対策として、入口でカードを提示した後、4 ~ 8 桁の PIN（デフォルトでは 4 桁）として入力することができます。

データフィールド/ 入力フィールド	説明
識別 PIN / ID-PIN	<p>この PIN はシステム全体で一意でなければならないため、</p> <ul style="list-style-type: none"> - システムが自動で生成するか、 - 追加のセキュリティ対策として、入口でカードを提示した後、4 ~ 8 桁の PIN (デフォルトでは 4 桁) として入力することができます。 <p>ID PIN は保存前にメッセージダイアログに表示されます。</p>  <p>カードを提示する代わりに、この識別 PIN をキーボードリーダーで入力できます。この PIN は事実上、カード番号として機能するため、そのカード番号に割り当てられたすべての承認も含まれます。</p>
作動 PIN / IDS PIN	<p>4 ~ 8 桁の PIN (デフォルトでは 4 桁。確認 PIN と同じ長さ) を入力し、アラームシステムを作動させます。</p> <p>これらのフィールドが表示されるかどうかは、個別の IDS PIN ([Configurator] > [設定]) チェックボックスによって決まります。デフォルトでは、IDS (侵入検知システム) を作動/解除させるためのフィールドは表示されていません。</p> <p>個別の作動 PIN が設定されていない場合は、IDS を作動させるために確認 PIN を使用することができます。しかし、個別の作動 PIN が設定されている場合は、それを単独で使用できます。確認 PIN は作動 PIN として機能しません。</p>

データフィールド ド/ 入力フィールド	説明
<p>注: 4 種類目の PIN である ドア PIN は、個々のドアに個別に割り当てることができます。このコードは、ドアを使用する人に周知されている必要があります。</p> <p>ドア PIN は、[PIN またはカード] 機能の下にある [入口] ページの Configurator で設定して有効にします。</p> <p>重要: Wiegand コントローラーおよびリーダーを使用する場合は、識別 PIN、作動 PIN、またはドア PIN を使用するには、Wiegand カード定義 [PIN またはカード] (6 番) を有効にする必要があります。</p>	
<p>ダイアログボックスの右側のボタン</p>	
写真の撮影	これらのボタンは、このワークステーション上で [Card Personalization (CP)] (カードの作成, ページ 42) がインストールおよび実行されている場合にのみ表示されます。
カードのプレビュー	
カードの印刷	
カードの裏面の印刷	
確認	
画像のインポート	.jpg または .bmp 形式の画像をインポートできます。画像は個人データの表示に統合されます。
画像の削除	画像がインポートされている場合にのみ有効です。
カード 1 の削除	カードが割り当てられている場合にのみ有効です。カードステータスの表示を変更します (上記参照)。
カード 2 の削除	
カード 3 の削除	
カード 1 の割り当て	選択された人物にカード番号を割り当て、カードステータスの表示を変更します (上記参照)。
カード 2 の割り当て	
カード 3 の割り当て	



注記!

識別 PIN およびドア PIN の類は、セキュリティシステムが作動しているドアモデルで使用することはできません (TM 10 および 14)。

4.2 カードの割り当てと取り消し

各カード所有者は最大 3 枚のカードを保持することができ、個別の割り当てや取り消しを行うことができます。システム構成によっては、カードデータは手動または登録リーダーを経由して記録できますが、一度に有効にできるのは 1 つの方法のみです。登録リーダーが構成されると（[ツール] > [プロパティ]）、並行して手動による方法を使用することはできません。手動によるデータ記録は、オペレーターが元のカードビット形式を変更できるようにすることで、異なるカード技術の使用をサポートします。ただし、登録リーダーを使用する場合、元の同じカード技術を使用したカードのみを使用できます。



注記!

Access PE では、カード所有者は複数の形式と技術による、複数の資格情報を使用できます。ただし各資格情報は、承認、ブロック、PIN、時刻モデル、およびエリア制限の同じセットにより、同一の個人を識別します。

[プロパティ]（登録設定、ページ 13）によっては、カードは手動またはリーダー経由で確認できます。一度に有効にできるのは 1 つのモードのみです。リーダーが構成されるとすぐに、カード番号は手動で確認できなくなります。

手動でのカード確認

カードを番号を手動で確認する場合は、名前と人事グループの最低限の人事データに加えて、デフォルトで最大 6 桁のカード番号を定義する必要があります。**その人物の有効なカード番号を入力してください!**

[カードの割り当て] をクリックすると、カード番号の一意性の確認が開始されます。**このカードは次の人物に割り当て済みです：xxx**

現在、カード番号は、Access PE Configurator の [設定] ダイアログに表示される、**デフォルトのカードデータ**に基づいてエンコードされています。割り当てに成功するとダイアログボックスで通知されますが、データを保存する前に [OK] をクリックして確認する必要があります。

「LAC サービスへの接続」が「人事管理プロパティ」（登録設定，ページ 13）で有効になっている場合、人事データへの変更または追加は LAC サービスにすぐに転送され、システム全体で有効になります。



注記!

人物には、カード番号だけでなく、すべての入口で必要となる承認（承認，ページ 37）も割り当てられる必要があります。

「人事管理プロパティ」で「カード情報を編集するためのダイアログを表示しますか」チェックボックスがオフになっている場合は、「カードの割り当て」ボタンで以下のダイアログが呼び出され、デフォルト設定を上書きできます（詳細は「Access PE Configurator」を参照してください）。

The screenshot shows a dialog box titled "Internal Card Information". It has a close button (X) in the top right corner. The dialog is divided into several sections:

- Customer code:** A text box containing "56720" and a checkbox labeled "Input hexadecimal" which is currently unchecked.
- Country code:** A text box containing "0" and a checkbox labeled "Input hexadecimal" which is currently unchecked.
- Card code:** A text box containing "106" and a checkbox labeled "Input hexadecimal" which is currently unchecked.
- Version:** A text box containing "0".
- Options:** A checkbox labeled "Don't show this dialog again. Generate card code with predefined data." which is currently unchecked.
- Buttons:** "Assign card" and "Cancel" buttons are located at the bottom of the dialog.

ダイアログリーダーによるカードの確認。

カード確認用の接続済みダイアログリーダーを、[人事管理プロパティ]で構成する必要があります。それにより手動での確認は自動的に無効になります。

この場合、すべてのデータがカードから読み込まれます。そのため、キー入力は不要で、システムで無視されます。

ユーザーはダイアログリーダー上にカードをかざすように求められ、ユーザーは入室権限またはエラーメッセージを受け取ります。

4.3

承認

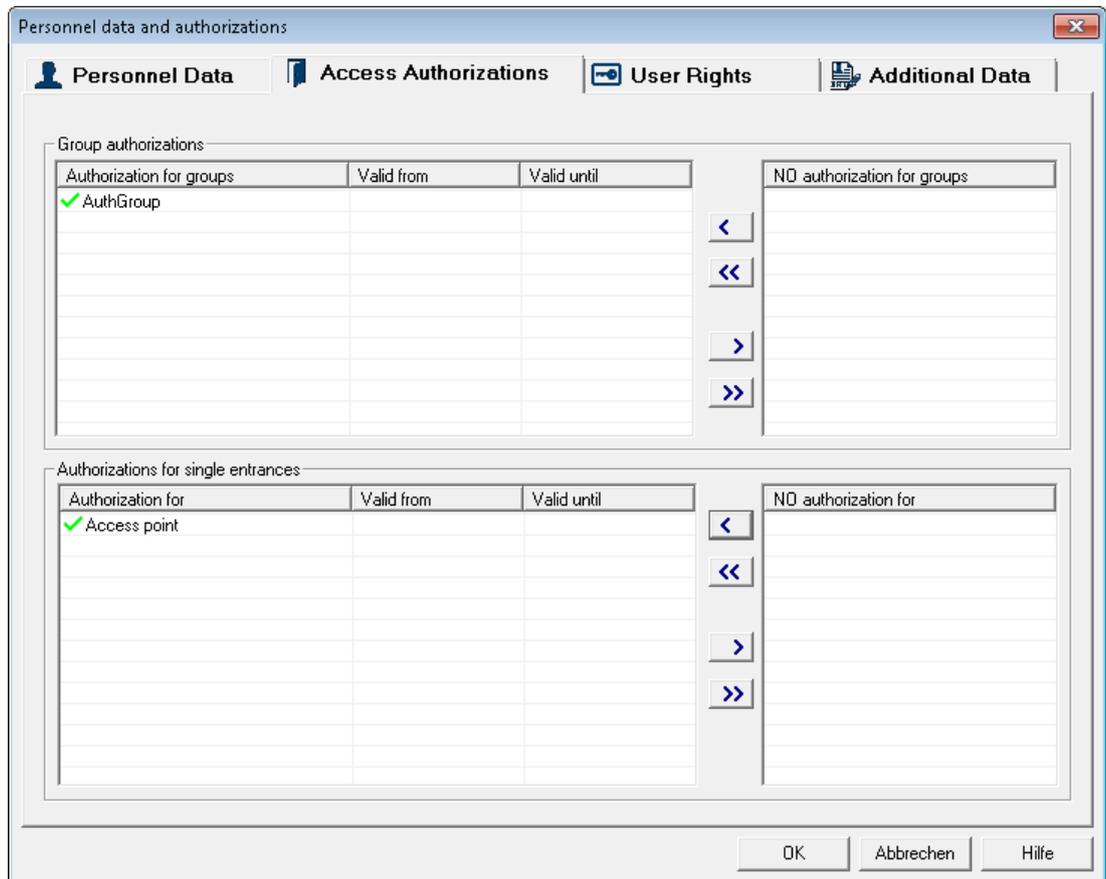
このページは現在、ログイン中のユーザーが承認を変更する管理者権限（ユーザー権限、ページ 56）を持っている場合にのみ表示されます。

このタブでは、アクセスコントロールシステムで人物に承認の割り当てを行います。

Configurator（[権限グループ]ダイアログ）が特定の人事グループにデフォルトの承認を割り当てるために既に使用されている場合、その人事グループに割り当てられることにより、その人物はその承認を受け取っています。

The screenshot shows a dropdown menu with the title "Default authorization for personnel group". The dropdown list is open, and the selected item is "Employees".

ただし、ユーザーの承認は、このタブを使用して補うことができます。



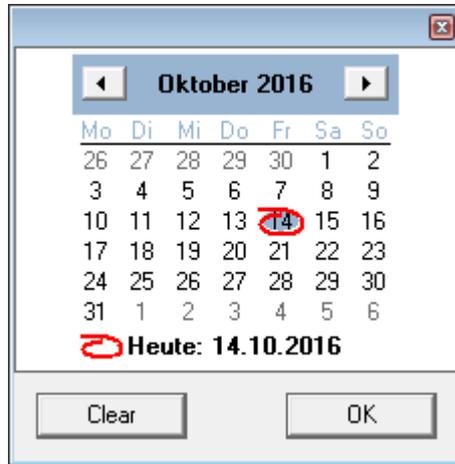
このダイアログには、4つのリストボックスが含まれています。右側のボックスには、すべての構成済みの承認グループ（上側のリスト）、およびすべての構成済みの個々の入口（下側のリスト）が一覧表示されます。ある人物の承認全体は、このダイアログで割り当てられたすべての承認グループとすべての個々の入口が含まれています。

右側のリストボックスの1人をダブルクリックするか、1人を選んで  をクリックし、承認（グループまたは入口）をその人物に移すことができます。  ボタンで、すべての利用可能な承認を一度に移します。グループまたは個々の承認を任意の組み合わせで割り当てることができます。逆に、割り当てられた承認は、ダブルクリックするか、  ボタンと  ボタンを使用して取り消すことができます。

承認グループに**時刻モデル**（これらには適切に名前を付ける必要がある）が含まれる場合、その人物だけがその時刻モデルの間にグループの割り当てられた入口を通行できます。Access PEの**時刻モデルの用途 *** XRef ME TO Anwendung_von_Zeitmodellen.xml**の特殊なケースに留意してください。デフォルトでは承認は時間的に制限されていませんが、**[次の日付から有効]**と**[次の日付まで有効]**列に日付を入力することによって、グループと個々の承認を制限することができます。これらの列のセルをクリックすると、日時を入力するためのインラインエディタが起動します：



日付は、キーボードまたはエディタの右側にあるスピコンントロール（小さな矢印）を使用してマウスから入力できます。スペースバーでカーソルを日から月、年などに移動できます。さらに、開いている日付フィールドを右クリックすると、さらに速く快適な日付選択カレンダーを起動できます。



これにより、ある人物を作成する際に、後日に有効になる承認を割り当てることができます。したがって、これらの承認は特定の日付に自動的に有効期限が切れるように設定できるため、ある人物の承認を再編集するためにリマインダーを設定する必要はありません。**次の日付から有効**の日付が**次の日付まで有効**の日付より後の場合、承認は**次の日付まで有効**の日付に達すると無効になり、**次の日付から有効**の日付に達すると再び有効になります。この機能は、ある人物が休暇を取る場合などに便利です。

[OK] をクリックして確認するまで、承認および他の人事データへの変更は保存されません。すべての変更が自動的にコントローラーに転送されるようにするには、[設定]（[ツール] > [プロパティ]）で [LAC サービスへの接続] オプションが有効になっている必要があります。特殊なケースでは、[[人物] > [選択した人物の LAC サービスへの転送]] または [[人物] > [LAC サービスへのすべての人物の転送]] のメニューを使用して、明示的にデータを転送できます。

4.4 追加フィールド

このタブは、10 種類の利用可能な追加データフィールドのうち、最低 1 種類が Access PE Configurator で構成されている場合にのみ表示されます。

最大 10 種類の追加データフィールドを構成することができます。これらは、番号とフィールド名の両方で異なる場合があります。フィールドには、最大 40 文字の値を含めることができます。

フィールドが順に表示されます。10 種類のフィールドのうちの 1 つがスキップされると、スペースがプレースホルダーとして残されます。そのフィールドが後に構成されると、順にそのプレースホルダーに取って代わります。



注意!

各テキスト入力フィールドにはデータベースのフィールドを割り当てられるため、レポートでデータを保存して選択し、含めることができます。とはいえ、使用中の追加データフィールドを変更すると、そこに含まれるデータがデータベースから失われることを意味します。追加フィールドの内容の使用が変わらない場合、フィールド名はいつでも変更できます。

4.5

時刻モデルの用途

人事データに関連付けられた時刻モデルが有効になるのは、リーダーのデフォルト設定が変更されていないため、**「時刻モデルのチェックなし」**がチェックされていない場合だけです。

時刻モデルは多くの方法で使用することができます。それで、システムによる複数の割り当ての処理方法を理解できるように、次の競合解決ルールに留意してください。

ある人物が時刻モデル経由で特定の入口にアクセスできる場合、およびその人物が時刻モデルなしで同じ入口にアクセスできる場合、緩い方の制限が優先されます。つまり、この場合は時刻モデルは適用されません。

例：

ある人物に、以下のアクセス権が付与されています。

- 毎日 09:00 ~ 17:00 の時刻モデル内での、入口 A、B、C、D へのアクセス。
- 時刻モデルなしでの入口 B および D への個々のアクセス権。

現在、この人物は、入口 A および C には毎日 09:00 ~ 17:00 のアクセス権、入口 B および D には制限なしのアクセス権を持っています。

- ある人物が同じ入口を網羅する異なるアクセス権を与えられるものの、異なる時刻モデルによって管理されている場合、その時刻モデルの和集合が適用されます。

例：

ある人物に、以下のアクセス権が付与されています。

- 毎日 07:00 ~ 13:00 の時刻モデル内での、入口 A、B、C、D へのアクセス。

- 毎日 09:00 ~ 17:00 の時刻モデル内での、入口 B、D、E へのアクセス。
- 現在、この人物は、入口 A および C には毎日 07:00 ~ 13:00 のアクセス権、入口 E および F には 09:00 ~ 17:00 のアクセス権を持っています。
- ある人物が時刻モデルを含む承認グループに割り当てられ、その同じ人物にカードの使用に関して時刻モデルが与えられている場合、定義された期間の積集合が適用されます。

例：

ある人物に、以下のアクセス権が付与されています。

- 入口 A、B、C、D へのアクセス権および毎日 07:00 ~ 13:00 の時刻モデルを含む承認グループ。
- 入口 B、D、E、F へのアクセス権および毎日 09:00 ~ 17:00 の時刻モデルを含む承認グループ。
- さらに、毎日 11:00 ~ 19:00 の勤務モデル

現在、この人物は、入口 A および C には毎日 11:00 ~ 13:00 のアクセス権、入口 B、D、E、F には 11:00 ~ 17:00 のアクセス権を持っています。

5 カードの作成

Access PE には、独自のカードパーソナライゼーションプログラムが付属しています。ユーザーは希望する特定のコンピューターにこのソフトウェアをインストールできます。カードをパーソナライズするには、適切なハードウェア（カメラおよびプリンター）も必要です。そのため、カードのパーソナライズに使用するコンピューターには、これらのコンポーネントのみをインストールすることをお勧めします。

画像インポート機能にも注意してください。たとえば、人事ダイアログで画像を表示する場合、これが機能するのは、カードパーソナライゼーションプログラムがインストールおよび起動されているコンピューター上のみです。

5.1 カードの作成

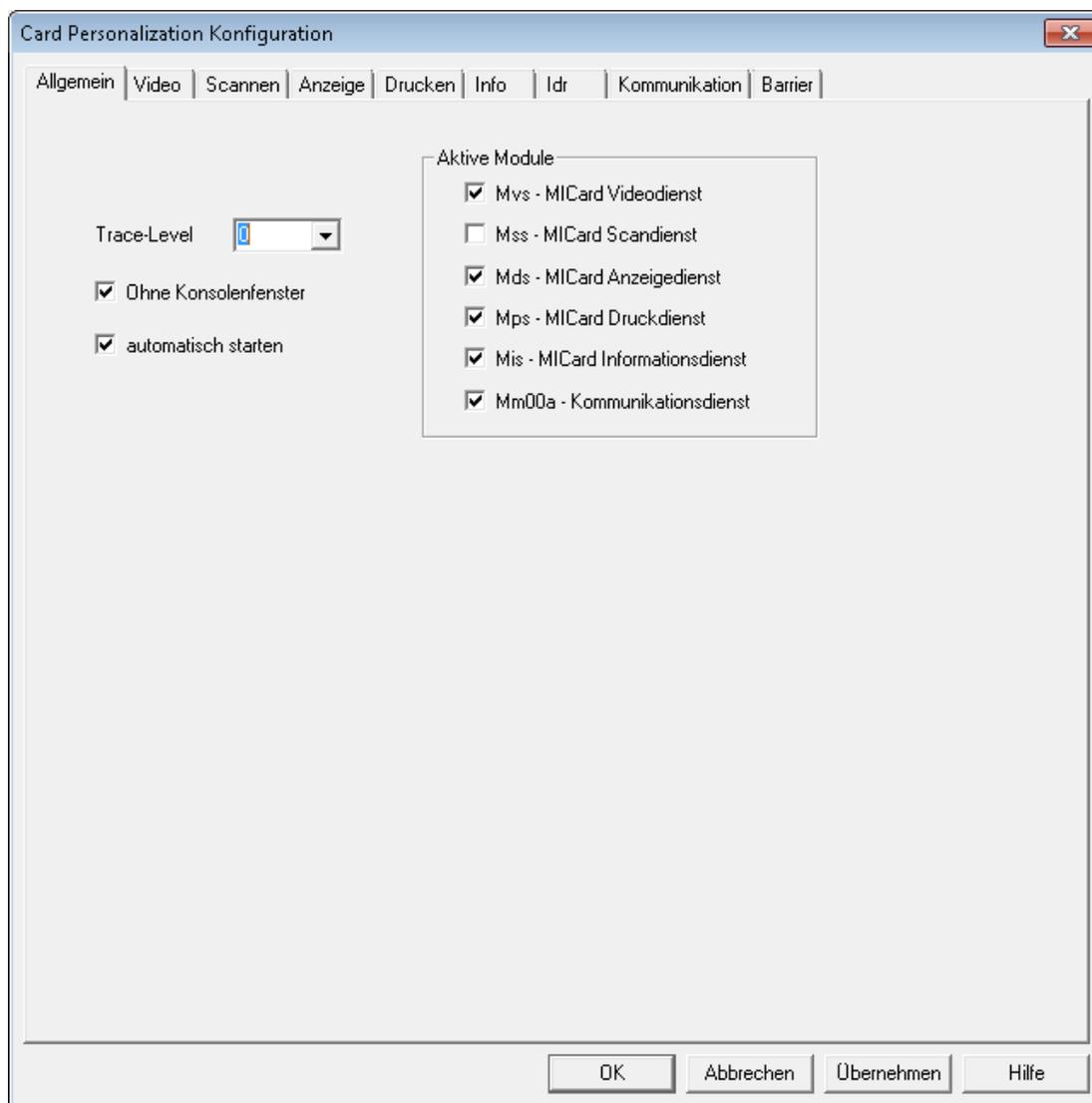
カード作成に必要な機能は、バッジデザイナープログラムがインストールおよび実行されているすべてのワークステーションで実行できます。これに使用するボタンは、[人事データ] タブにあります。

これに加えて、ワークステーションが必要な機器（カメラおよびカードプリンター）に接続されている必要があります。

ハードウェアを構成するには、[カードパーソナライゼーション設定] を選択します。

カメラまたはプリンターを、[ビデオ] および [印刷] タブ上の入力によりパラメーター化します。

このツールのオンラインヘルプもご覧ください。



カード作成では、以下の手順をお勧めします。

- 画像のインポートまたは撮影
- カードのプレビュー (オプション)
- カード/裏面の印刷
- カード領収書の印刷 (オプション)

5.2 画像の撮影またはインポート

カードに印刷される、または人事データダイアログに表示される人事画像は、接続されているカメラで撮影するか、利用可能であればファイルからインポートすることができます。

画像のインポート

従業員の画像をファイルとしてインポートしたり、人事データに割り当てることができます。

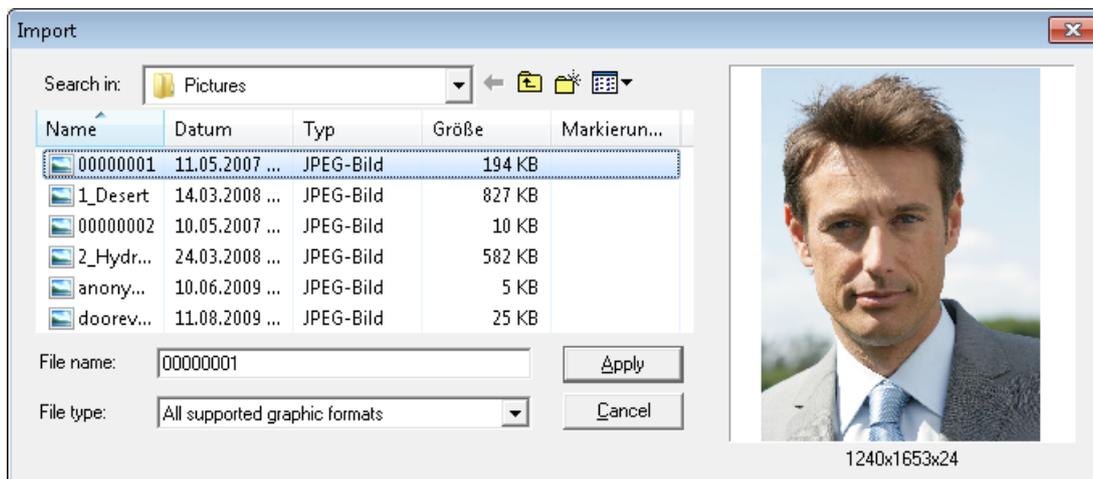


注記!

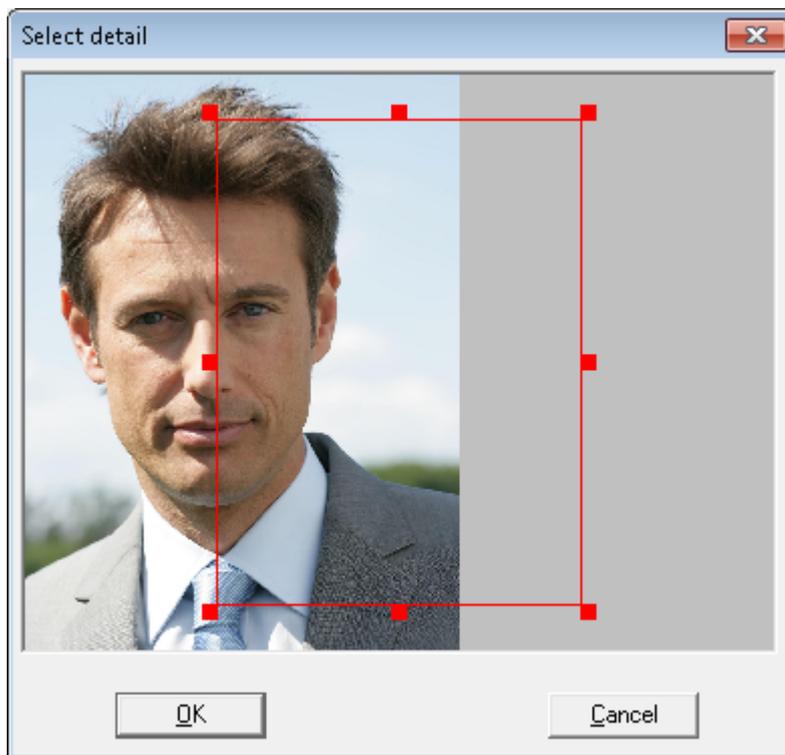
画像のインポートは、Card Personalization アプリケーションがインストールされていないワークステーションでも利用できます。ただしこの場合、画像は元のサイズでのみインポートできます。以下で説明する編集機能は利用できません。

ファイルから画像をインポートするには、[画像のインポート]をクリックし、ファイル選択ダイアログでファイルを選択します。Card Personalization プログラムの構成設定では、インポートされたファイルのデフォルトディレクトリが定義されます。これは、インポート機能によって開かれる最初のディレクトリです。とはいえ、ファイル選択ダイアログではシステム上の任意の画像ファイルを探し、選択することができます。

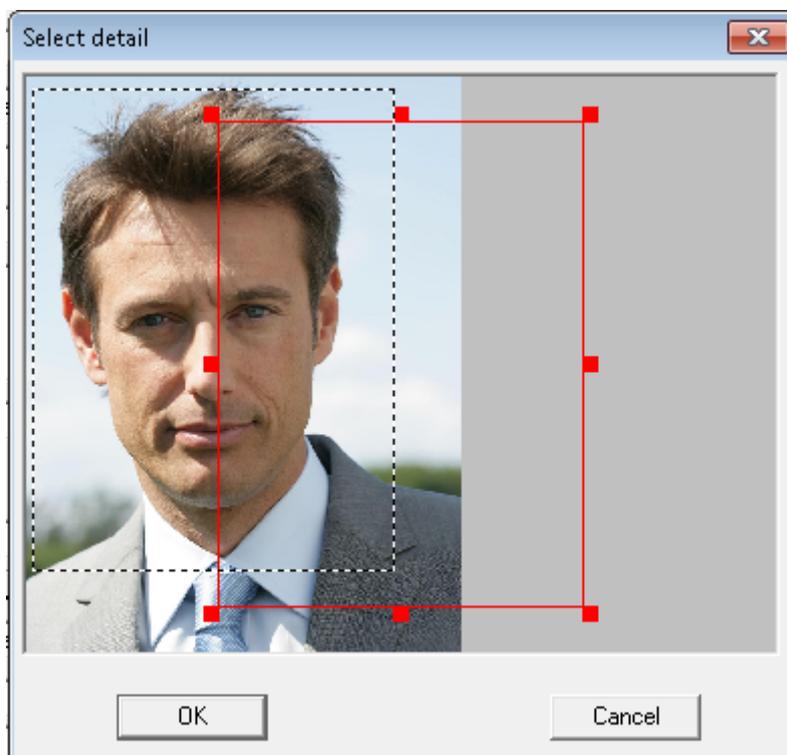
ファイルが選択されると、適切な画像を見つけやすいようにプレビューウィンドウに表示されます。



画像が選択されると編集ダイアログが表示され、画像をトリミングしたり、サイズを変更することができます。その人物用にシステムで保存される部分の画像が赤枠でマークされます。

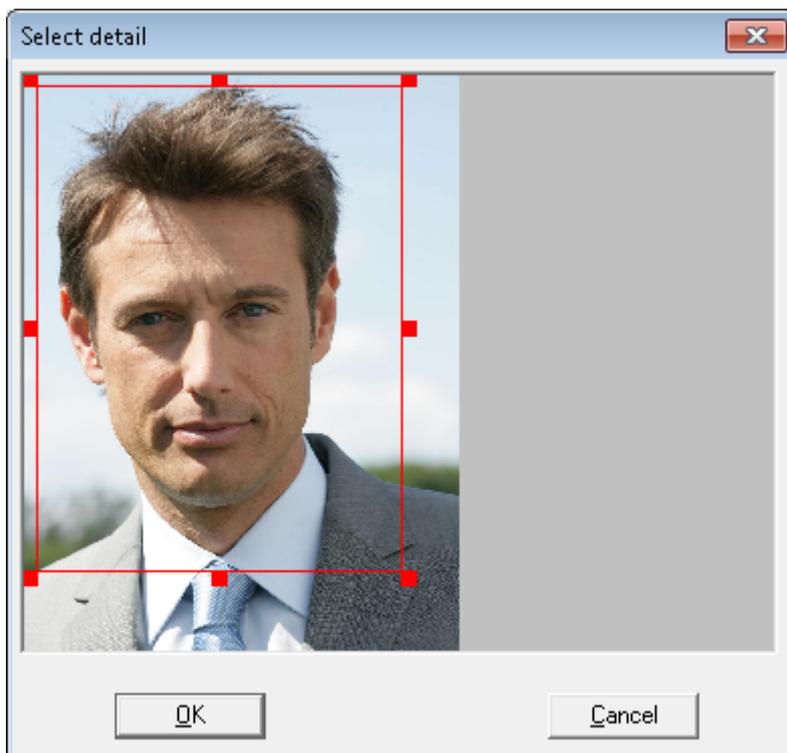


画像の選択された部分は、マウスの左ボタンでドラッグアンドドロップして、フレーム内に再配置できます。



画像の選択された部分は、マウスの左ボタンでクリックしたまま広げて、拡大することもできます。この方法により、画像に拡大できるだけの解像度がある場合は、画像の小さな部分もカード用に使用できます。

[OK] をクリックし、画像の選択した部分をインポートします。



フレームサイズは、ダイアログウィンドウのフレーム、または定義されているカードレイアウトの画像フレームのサイズに調整され、インポートを確認した後、すぐにそこでプレビューされます。

画像の撮影

カード作成アプリケーションの Card Personalization (CP) では、ワークステーションに接続されたカメラタイプに設定する必要があります。これは [CP 設定] ダイアログより行います。可能な設定の詳細については、そのアプリケーションのヘルプ機能をご覧ください。

以下のスクリーンショットは Windows 向けビデオから撮影されており、すべてのカメラタイプで同じではありません。

[写真の撮影] ボタンをクリックすると、以下のダイアログが表示されます。



必要に応じて、 ボタンで、現在のカメラの設定を確認および変更することができます。設定および要件が一致する場合は、[フリーズ] ボタンを押して画像をフリーズさせることができます。

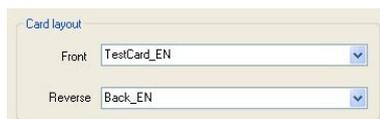
フリーズ画像に満足できない場合は、いつでもライブ画像モードを再度有効にできます。その画像をカードおよび人事データに使用する場合は、[適用] をクリックしてください。

さらに [画像のトリミング] ダイアログが表示されます。トリミング枠を使用すると、カードに表示される画像の一部を選択することができます。

トリミング枠の使用の詳細については、上記の「画像のインポート」セクションを参照してください。

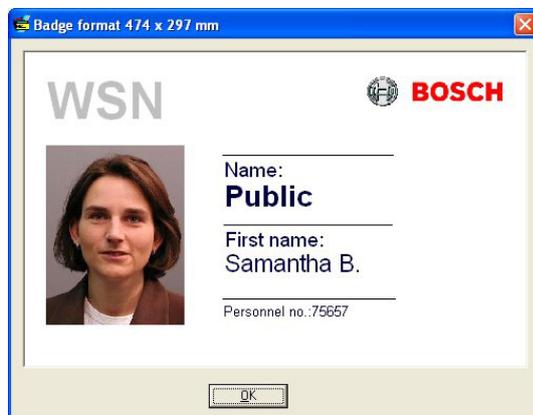
5.3 カードのプレビューと印刷

[カードのプレビュー] および [カードの裏面の印刷] ボタンは、カードレイアウトが Access PE Configurator (ダイアログ: 人事グループ) でそれぞれの人事グループに割り当てられている場合にのみ有効です。



カードのプレビュー

画像の撮影後、自動的にカードレイアウト内の所定の領域に挿入され、印刷前にプレビューすることができます。カードは、[カードのプレビュー] ボタンによって起動される、以下のダイアログボックスでプレビューします。



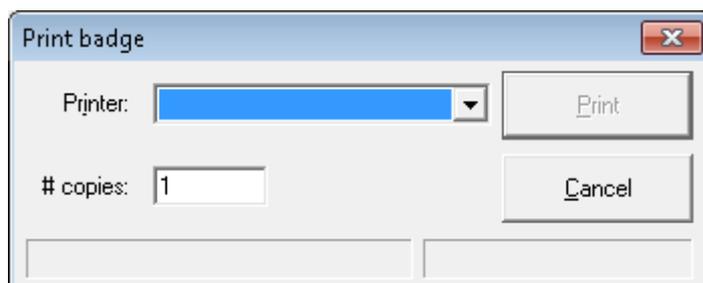
[OK] をクリックして、ダイアログを閉じます。

カードの印刷

カードのレイアウトに満足できる場合は、最後の手順として印刷できます。[カードの印刷] ボタンにより、上記のダイアログに類似した以下のダイアログが起動しますが、印刷コマンドがある点が異なります。



[印刷] ボタンにより、プリンターを選択するダイアログが起動し、印刷プロセスが開始されます。デフォルトのプリンターが Configurator で定義されている場合、印刷はすぐに進みます。

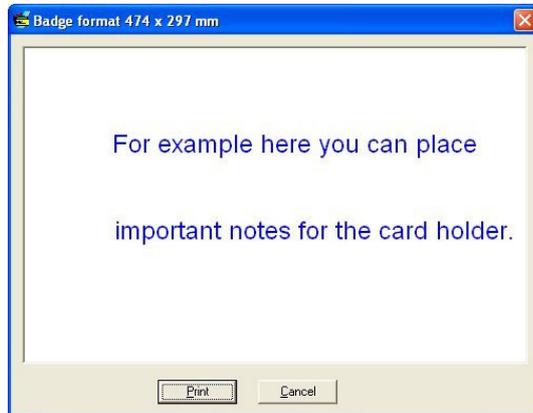


カードの裏面の印刷

カードの裏面を印刷する場合、目的に合わせて特殊なレイアウトおよび内容を定義することができます。

注：裏面を印刷するコマンドを出す前に、表面が印刷済みのカードがカードプリンターのホッパーの一番上にあることを確認してください。

ヒント：裏面には人物固有のデータではなく、一般的なデータのみを含めることをお勧めします。この場合、いくらかのカードの裏面を事前印刷して在庫にしておく、必要が生じたときに完成した個人用カードをより迅速に作成することができます。



5.4 カード領収書の印刷

カード作成アプリケーションの別の特徴は、標準的な領収書を印刷する機能です。領収書ではカードの引き渡し文書化されており、カード所有者はそこに保存されているデータについての情報を受け取ることができます。

この機能を使用するには、テンプレートが作成され、Access PE Configurator の [人事グループ] ダイアログで人事グループ用に保存されている必要があります。



Date: 06.08.2008

Acknowledgement of identification badge

Last name: Public
First name: John B.
Company:

Reason of issue:

Please check:

- First issue
- Replacement / New issue
- Badge lost
- Badge damaged
- Return of badge (*)
- Return of damaged badge (*)
- Change of name
- Transfer
- Other:



Code of behavior:

Entering the business premises is only permitted while holding a valid badge. The badge must be shown on demand and may not be passed to other persons. Its loss must be immediately reported to the responsible issue office.

The badge has to be returned at quitting.

Charging of cost in case of loss or damage:

Check, if valid:

6 レポート

Access PE のリスト機能を使用すると、データベースの内容を特別な方法で照合し、印刷向けのわかりやすい形式に編成できます。

ユーザーが見る必要のあるデータだけが表示されるように結果をフィルターするには、アクセスコントロールの特定の面に関する具体的な情報（たとえば、どのドアに関して誰がどんな許可を得ているか）を提供する、事前に準備されたレイアウトを使用できます。

6.1 レポート



ボタンを使用すると、ビューが人事データビューから、アクセスコントロールに関連するレポートの作成と表示を行うためのダイアログに変わります。

Reports
 Layout Persons

Filter

Last name <input style="width: 90%;" type="text"/>	First name <input style="width: 90%;" type="text"/>
Personnel no. <input style="width: 90%;" type="text"/>	Card no. <input style="width: 90%;" type="text"/>
Card no. from <input style="width: 90%;" type="text"/>	Card no. to <input style="width: 90%;" type="text"/>
Dep./Company <input style="width: 90%;" type="text"/>	Personnel group (no filter)

Filter locations

Areas	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th style="text-align: left;">Name</th></tr> <tr><td>-- outside --</td></tr> <tr><td>-- unknown --</td></tr> <tr><td>inside</td></tr> </table>	Name	-- outside --	-- unknown --	inside
Name					
-- outside --					
-- unknown --					
inside					

Filter additional personnel data
Field (no filter)
Filter

Filter authorizations

Authorizations	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">Name</th> <th style="text-align: left;">Type</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Authorization</td> <td>(G)</td> </tr> <tr> <td>Access point</td> <td>(E)</td> </tr> </tbody> </table>	Name	Type	Authorization	(G)	Access point	(E)	Valid from <input style="width: 90%;" type="text"/>	-
Name	Type								
Authorization	(G)								
Access point	(E)								
		Valid until <input style="width: 90%;" type="text"/>	-						

Filter devices

Type	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><th style="text-align: left;">Type</th></tr> <tr><td>Lac</td></tr> <tr><td>Entrance</td></tr> <tr><td>Reader</td></tr> </table>	Type	Lac	Entrance	Reader	Name <input style="width: 90%;" type="text"/>
Type						
Lac						
Entrance						
Reader						

Clear form

Search

Close

複数のレポートレイアウトとコンテンツフィルターを使用できます。

レイアウト	使用可能なフィルター	説明
人事データ	姓 名 人事番号 カード番号 カード番号 (範囲) 部署/会社 人事グループ	人事データが表示されます。データは使用可能なフィルターの一部またはすべてに従ってフィルターできます。複数のフィルターは限定的に機能しません (論理 AND)。たとえば、名前が A で始まりカード番号が 900 - 999 の範囲にあるすべての人物を検索できます。 文字 * は、任意の文字または文字なしを表すワイルドカードとして使用できます。
ブロックされた人物	姓 名 人事番号 カード番号 カード番号 (範囲) 部署/会社 人事グループ	カードステータスが 有効 以外 (たとえば、明示的にブロック済み、3 回の不正な PIN 入力、ランダムスクリーニング用に選択済み) である人員のデータがメインの人事データ画面に表示されます。データは使用可能なフィルターの一部またはすべてに従ってフィルターできます。複数のフィルターは限定的に機能しません (論理 AND)。たとえば、名前が A で始まりカード番号が 900 - 999 の範囲にあるすべての人物を検索できます。 文字 * は、任意の文字または文字なしを表すワイルドカードとして使用できます。
人物 - 承認	姓 名 人事番号 カード番号 カード番号 (範囲) 部署/会社 人事グループ 承認	人物と付与された承認をリストするレポート。グループ承認には (G) 、個々の承認には (E) のマークが付いています。有効期間も示されます。1 つまたは複数の承認に基づいてフィルターできます。各承認はシングルクリックで選択または選択解除できます。

レイアウト	使用可能なフィルター	説明
人物 - エリア	姓 名 人事番号 カード番号 カード番号 (範囲) 部署/会社 人事グループ 場所	システム内の構成済みエリアに基づき、指定した場所にいる人物の名前と数がリストされます。 1 つまたは複数のエリアに基づいてフィルターできます。各エリアはシングルクリックで選択または選択解除できます。
承認 - 人物	承認	承認と割り当てられた人物をリストするレポート。グループ承認には (G) 、個々の承認には (E) のマークが付いています。有効期間も示されます。 1 つまたは複数の承認に基づいてフィルターできます。各承認はシングルクリックで選択または選択解除できます。
機器	機器タイプ 機器の説明	機器タイプ (コントローラ、入口、リーダー) をリストするレポート。 1 つまたは複数の機器タイプに基づいてフィルターできます。各機器タイプはシングルクリックで選択または選択解除できます。 機器は説明のテキスト一致によってフィルターできます (たとえば、説明が A で始まるすべての機器)。 文字 * は、機器の説明で任意の文字または文字なしを表すワイルドカードとして使用できます。

レイアウト	使用可能なフィルター	説明
ユーザー	姓 名 人事番号 カード番号 カード番号 (範囲) 部署/会社 人事グループ	システムのユーザーでもある人物と割り当てられたユーザー権限をリストするレポートデータは使用可能なフィルターの一部またはすべてに従ってフィルターできます。複数のフィルターは限定的に機能します (論理 AND)。 たとえば、名前が A で始まりカード番号が 900 - 999 の範囲にあるすべての人物を検索できます。 文字 * は、任意の文字または文字なしを表すワイルドカードとして使用できます。
人物 - ドア	姓 名 人事番号 カード番号 カード番号 (範囲) 部署/会社 人事グループ 承認	人物と割り当てられたドアをリストするレポート。グループ承認には (G) 、個々の承認には (E) のマークが付いています。有効期間も示されます。 人物はテキスト一致によってフィルターできます (たとえば、名前が A で始まるすべての人物)。 文字 * は、機器の説明で任意の文字または文字なしを表すワイルドカードとして使用できます。

6.2 レポート : ページビュー

フィルターを設定してレポートの内容をサブセットに限定することができます。フィルターを設定しない場合はすべてのデータが報告されます。[検索] ボタンを使用すると、データのコレクションがトリガーされてプレビューウィンドウに表示されます。



注記!

意図しないフィルターが使用されて誤解を招くレポートが作成されることを避けるため、フィルター条件を変更する際は [フォームのクリア] ボタンを使用することをお勧めします。

開いているログファイルは保存または印刷できます。メニュー項目 [ファイル] > [印刷] または



ボタンを使用すると、プレビューが開きます。

Date	LAC/F/C	Reader/LogIn	Location / program	Last name, first name	Card no.	Company	Message
25.05.2009 14:19:31	LAC-1	Processor 4	Board 0				online (ready)
25.05.2009 14:19:31	LAC-1						Program download
25.05.2009 14:19:32	LAC-1		Main entrance - north				Door in normal
25.05.2009 14:19:32	LAC-1		Main entrance - south				Door in normal
25.05.2009 14:19:32	LAC-1		Entrance-3				Door in normal
25.05.2009 14:19:32	LAC-1		Entrance-4				Door in normal
25.05.2009 14:19:32	LAC-1		Entrance-5				Door in normal
25.05.2009 14:19:32	LAC-1		Entrance-6				Door in normal
25.05.2009 14:19:32	LAC-1		Entrance-7				Door in normal
25.05.2009 14:19:32	LAC-1		Entrance-8				Door in normal
25.05.2009 14:19:40	LAC-1						Personnel data
25.05.2009 14:19:41	LAC-1						Program download
25.05.2009 14:28:18			LACSP				No video verify
25.05.2009 14:28:21			LACSP				No video verify
25.05.2009 14:28:23			LACSP				No video verify



注記!

開いているすべてのログファイルが印刷されます。

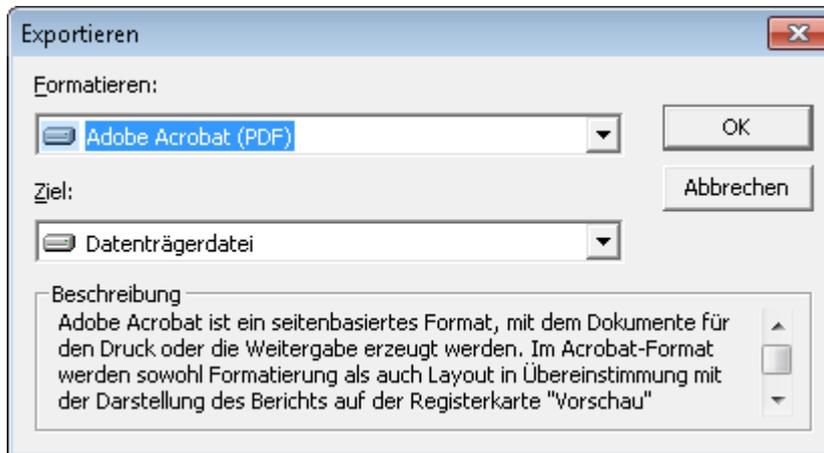
印刷しないファイルをすべて閉じるか、重要なメッセージの選択数を減らしてください。

レポートページビューには、表示の変更や操作を行うためのツールがいくつか備わっています。

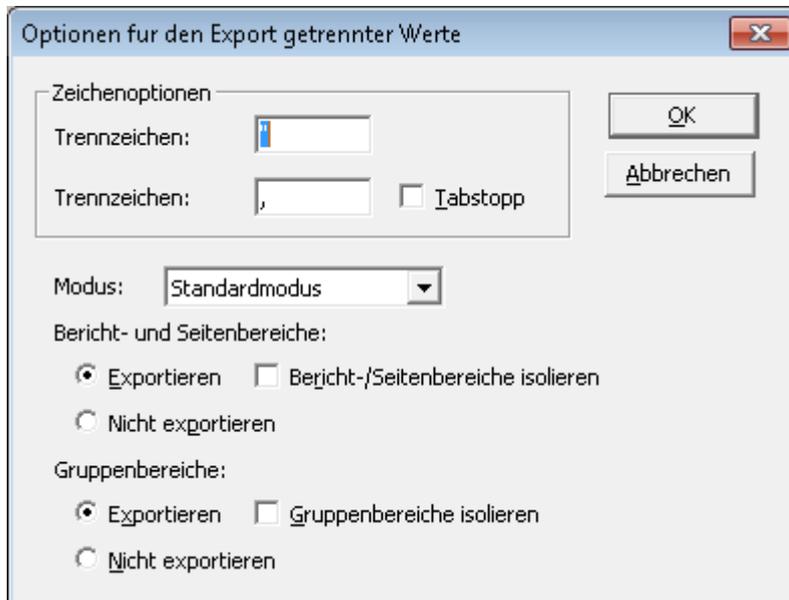
ボタン	意味	説明
	エクスポート	さらに処理するためにリストをファイルにエクスポートできます。次の形式が利用可能です。 Acrobat Portable Document Format (PDF) コンマ区切り値 (CSV)
	印刷	デフォルトプリンターの設定が可能な印刷ダイアログ経由でレポートを印刷します。
	Select page (ページの選択)	矢印ボタンを使用すると、レポートの最初、前、次、または最後のページに移動します。このコントロールには、レポートの現在のページと合計ページ数も示されます。
	ページ数	現在のページと全ページ数を入力するよう促されます。
	ズーム	ビューの標準の拡大率 (100%) を必要に応じて変更できます。

リストのエクスポート

ボタンを押すと、エクスポート条件を定義するためのダイアログが開きます。



[Format (形式)] 選択リストフィールドでは、出力形式として .pdf (特定の検索結果の転送とアーカイブ向け) および .csv (データの追加処理向け) を選択できます。
データを CSV ファイルにエクスポートする際は、途中で何らかの処理を行うことができます。



区切り文字とエクスポートのモードを入力するほか、レポートおよびページセクション (列ヘッダーとページの詳細) とグループセクション (選択したデータ) をエクスポートから除外または分離できます。

次のいずれかのオプションを [行き先] として選択できます。

- [アプリケーション] - ファイルを適切なアプリケーションで開きます。このアプリケーションもコンピューターにインストールされている必要があります (.pdf ファイルは Adobe Acrobat Reader で、.csv ファイルは MS Excel で開きます)。
- [ディスクファイル] (デフォルト) - 必要なディレクトリを選択するためのエクスプローラーダイアログを開きます。ファイルの保存用の名前が提案されます。
- [交換フォルダー] - ファイルを MS Outlook の受信者に直接送信できます。
- [Lotus Domino Mail] - ファイルを Lotus Mail の受信者に直接送信できます。

7

ローカル記録

静止画像とビデオの記録

アクセスコントロールダイアログで表示されるビデオシーケンスは、設定済み監視カメラが接続されたビデオ記録機器から取られています。機器の保存容量に応じて、最も古い記録は最新の記録によって上書きされるときに削除されます（循環バッファ）。

特定のセクションを保存するには、個々の画像またはビデオのローカルコピーを保存できます。デフォルトのインストールパスを使用している場合、画像とビデオは C:\BOSCH\Access Professional Edition\PE\Data\Video に保存されます。



ボタンを押すと、JPG 形式の静止画像が <機器名>_yyyyMMddhhmmsstttt.jpg として保存されます。

(y= 年、M= 月、d= 日、h= 時、m= 分、s= 秒、t= 1000 分の 1 秒)。



ボタンを押すと、現在実行中のシーケンスの記録が開始し、再び押すとシーケンスが終了します。ビデオ記録のローカルコピーは画像と同じように名前が付けられ、.vxx または .mpeg 形式で保存されます。.vxx 形式は、標準的な市販アプリケーションではビデオとして表示できません。これらのローカルコピーを表示するには、付属の **Bosch Video Player** を使用してください。



関心地点 (POI) の現在のビューの静止画像を保存するには、ボタンを押します。_POI が次のファイル名の先頭に追加されます: _POI <機器名>_yyyyMMddhhmmsstttt.jpg。

(y= 年、M= 月、d= 日、h= 時、m= 分、s= 秒、t= 1000 分の 1 秒)。

マーカーとしてログブックメッセージも作成されます。

Bosch Video Player

静止画像はほとんどすべての画像ビューアプログラムやインターネットブラウザで開くことができますが、ビデオ記録は特殊な形式であり、**Bosch Video Player** が必要です。



注記!

.mpeg 形式で保存したビデオシーケンスは、任意のプレーヤーを使用して表示できます。

このダイアログは意図的にシンプルになっており、ビデオ再生フィールドの横に [ファイルを開く] および [開始/停止] という 2 つのボタンがあります。

[ファイルを開く] を押してデフォルトのビデオ記録保存場所 (C:\) を参照し、必要なファイルを見つけてください。

ビデオファイルを選択すると、そのパスがビデオプレーヤーに表示されます。選択したファイルは、[開始] を押すことによっていつでも表示できます。ビデオが再生中の間、[開始] ボタンは再生を中断できるように [停止] に変わります。

8 ユーザー権限

Access PE アプリケーション（および Configurator と Logviewer）のユーザー権限は、Personnel Management の特別な人事データ タブ（= ユーザー権限）で割り当てられます。

8.1 ユーザー権限

このタブは、現在ログインしているユーザーが管理者権限を持っている場合にのみ表示されます。管理者のみが自分と他のユーザーの権限を設定および変更できます。

The screenshot shows a window titled "Personnel data and authorizations" with four tabs: "Personnel Data", "Access Authorizations", "User Rights", and "Additional Data". The "User Rights" tab is active. It contains several sections for configuring permissions:

- Username:** Bosch
- Password:** [Redacted]
- Confirmation:** [Redacted]
- Type of user:** Radio buttons for "No rights", "User", and "User-administrator" (selected).
- User rights for persons:** Checkboxes for "View personnel data", "Edit personnel data", "Change location", "Change authorizations", "Alarm_Map Management", and "Video verification" (all checked).
- User rights for configurator:** Checkboxes for "Configuration of system" (checked).
- User rights for door management:** Checkboxes for "Open / lock door (long-term)" (checked).
- User rights for video devices:** Checkboxes for "Category 1", "Category 2", and "Category 3" (all checked).
- User rights for video functions:** Checkboxes for "Live video", "Archive", and "Export / record" (all checked).
- User rights for logviewer:** Checkboxes for "View own messages", "View all messages without personal data", and "View all messages" (all checked).

Buttons at the bottom: OK, Abbrechen, Hilfe.

Access PE アプリケーションのユーザー権限を受け取る人は、それを明示的に割り当てられる必要があります。デフォルトでは、すべてのユーザーはユーザー権限なしで構成されています。ユーザー権限は、ユーザー名とパスワードを入力することで割り当てられます。ユーザーの姓がデフォルトのユーザー名として表示されますが、これは任意です。パスワードは最大 16 文字で、大文字小文字を区別し、任意の特殊文字を含めることができます。

注記!

システムを使用する各人に、個別のユーザーを作成することが勧められています。一般的なユーザーを作成して、複数の人がそれを使って作業することは避けてください。すべてのデータの入力や変更などは、それを実行したユーザーの名前でログが記録されます。ですから、他の人とワークステーションを共有している場合、各ユーザーがそれぞれのパスワードを持っていて、必要に応じて**ユーザー設定を変更する**（ユーザーハンドオーバーとワークステーションセキュリティ、ページ 58）ときに意味があります。

デフォルトのインストールでは、事前定義された管理者が 1 人います。ですから、事前定義されたこれらのユーザーがログオンしている場合、他の任意のユーザーまたは管理者を作成および変更できません。



管理者は、ユーザー権限を管理できるという点で、通常のユーザーと異なります。アプリケーションの使用可能性またはデータやログファイルへのアクセスに関しては、ユーザータイプに違いはありません。各ユーザーは、データアクセスを制限または無制限にして構成できます。

いずれかの管理者オプションが選択された場合、Access PE アプリケーションのユーザー権限のさまざまなグループが有効になり、個別に割り当てられます。

割り当て可能なユーザー権限の詳細は次のとおりです。

アプリケーション	ユーザー権限	説明
人事データ	人事データの表示	人事データのダイアログボックスだけを表示できます。人の場所は表示されません。変更はできません。
	人事データの編集	人事データの表示と変更ができます。人の場所は表示されません。
	場所の変更	上記のいずれかのオプションと一緒に使用できます。 [人事データの表示] が有効な場合、場所も表示のみ可能です。 [人事データの編集] が有効な場合、場所も変更できます。
	承認の変更	[アクセス承認] タブは、このチェックボックスがオンの場合にのみ有効になります。
Configurator	システムの設定	Configurator の完全なユーザー権限を有効にします。
ドア管理	ドアの開放 / 施錠 (長時間)	ドア管理は、同じ名前のメニューおよびデバイスステータスリスト (Personnel Management および Log Viewer にある) のコンテキストメニューで有効にされます。
Log Viewer	自身のメッセージの表示	ユーザー自身に関係のないすべてのログメッセージを除外します。
	個人データ以外のすべてのメッセージの表示	すべてのログメッセージが表示されますが、個人データは非表示になります。
	すべてのメッセージの表示	すべてのログメッセージがフィルターされることなく表示されます。

アクティブなユーザー権限は、オンになったチェックボックスと  記号が隣にあります。次の図は、すべての権限が有効になっていることを示しています。より包括的な権限セットが優先されるため、権限の競合を気にせずに、すべてのチェックボックスをオンにできます。

8.2 ユーザーのアクセス権限の設定

システムは、事前構成されたユーザー管理者権限で提供されます。
ユーザー名とパスワードが bosch のユーザーがデフォルトで提供されています。
管理者のみが他のユーザーを設定できます。



警告!

このユーザーとそのパスワードは標準的な提供の一部で、ソフトウェアの購入者ごとにカスタマイズされているわけではありません。そのため、本番使用に進む前に、管理者権限のある自分のアカウントを設定するために使用した後、それを削除または変更することが強く勧められています。

追加のユーザーは次のように設定します。

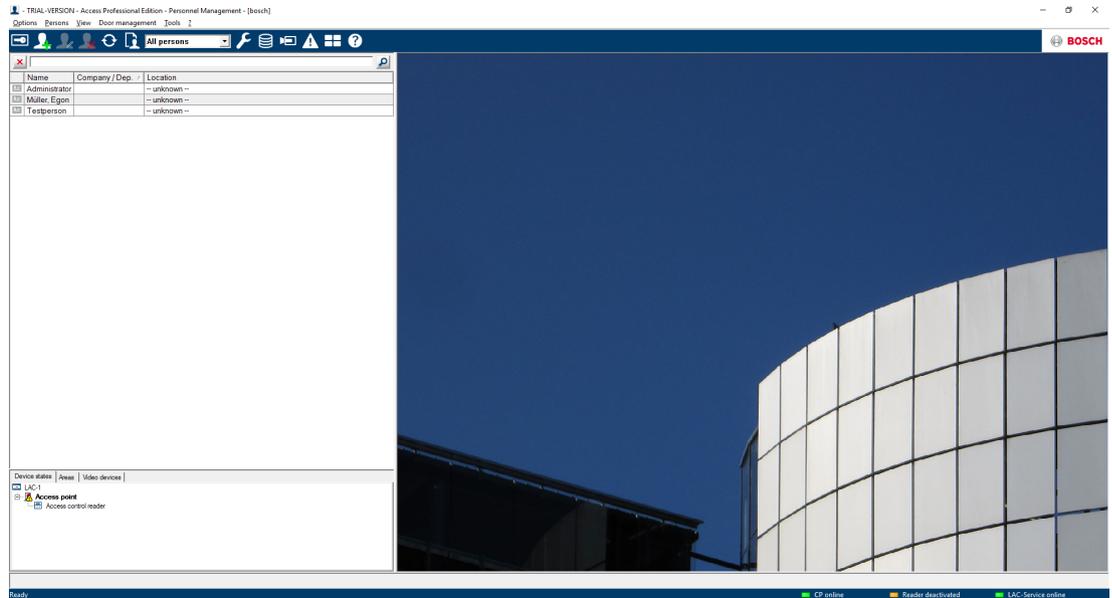
1. Access PE Personnel Management を、デスクトップアイコン  から起動して、事前構成されたユーザー管理者アカウントでログインします。
2. 人事データを追加するためのダイアログを、ボタン  またはメニュー [人物] > [新規人物] から開きます。
3. 新しいユーザーを、少なくとも新しい名前と人事グループを指定して追加します
4. [ユーザー権限] タブをクリックして、
 - 必要に応じて [ユーザー名] を変更します。
 - [パスワード] を割り当てます。
 - ユーザーのタイプを定義します (ユーザーまたはユーザー管理者)。
 - このユーザーにデータを変更する権限を割り当てます。
 - 入力を確認して、[OK] をクリックしてダイアログボックスを閉じます。
5.  またはメニュー [その他] > [ログオン] をクリックして Personnel Management からログアウトし、安全チェックで [はい] と回答して確定します。
6. ボタン  またはメニューを再度使用して、先ほど作成したユーザーの認証情報を使ってログオンします。

8.3 ユーザーハンドオーバーとワークステーションセキュリティ

ユーザーハンドオーバー

同じワークステーションで 1 人のユーザーが別のユーザーにコントロールを譲渡した場合、ハンドオーバーをシステムで明示的に行う必要があります。このハンドオーバーは実行中のシステムで行えます。Access PE を再起動する必要はありません。

まず、現在のユーザーがログアウトします。これは、ツールバーの  ボタンをクリックして行います。次の安全チェックが続きます。[ユーザー権限を使用した作業を終了しますか?] 確認後、システムはデフォルト表示に切り替わります。



新しいユーザーは  ボタンを使用してログインします。

ワークステーションセキュリティ

一般にアクセス可能な場所で、一時的にだれもワークステーションを使用していない場合、不正なアクセスから個人データを保護することが重要です。幾つかの対処法を利用できます。

- 一般に、そのようなワークステーションでは **Configurator** も **Log Viewer** もインストールするべきではありません。



- 使用していない場合には、 ボタンと上記の安全チェックを使って **Personnel Management** からログアウトします。人事リストは表示されていますが、個人データにはアクセスできなくなります。
- アプリケーションを閉じる**のために、[ファイル] > [終了] またはタイトルバーにある Windows **x** ボタンをクリックします。人事リストを表示するには、アプリケーションを再起動する必要があります。
- 標準の Windows 機能を使って **コンピューターをロック**します。Ctrl + Alt + Del を押して、表示されるシステム機能から [このコンピューターのロック] を選択します。[このコンピューターのロック] はデフォルトの設定であるため、RETURN を押すだけで通常はすぐに実行できます。現在のユーザーが Windows システム管理者のみがシステムをロック解除できます。

9 UL 294 要件

UL によって評価されない機能：

- ビデオ確認システム
- マップおよびビデオ確認を備えたマップビューアーとアラーム管理
- ビデオプレーヤー
- Badge Designer
- Delta 1200 シリーズ
- Rosslare ARD-1200EM シリーズ
- LAC コントローラ
- LACi コントローラ
- APC-AMC2-4R4CF コントローラ
 - BG 900 リーダーインターフェイスプロトコル
 - L-BUS リーダーインターフェイスプロトコル
- Security System IDS - 作動/作動解除
- エレベーター用
- テキスト
- ログブック
- Personnel Management
- カードの作成
- レポート
- ユーザー権限
- 盗難警報機用

UL によって評価される機能：

- 26 ビット Wiegand フォーマットリーダー
- AMC2 コントローラ：
 - APC-AMC2-4WCF
 - API-AMC2-4WE
 - API-AMC2-8IOE
 - API-AMC2-16IOE
- APE-SW は補足監視機器

以下の Bosch モデルカードリーダーは、UL によって Bosch の APE-SW ソフトウェアシステムとの互換性が評価されました。

- LECTUS secure 1000 WI
- LECTUS secure 4000 WI
- LECTUS secure 5000 WI



Bosch Access Systems GmbH

Charlottenburger Allee 50

52068 Aachen

Germany

www.boschsecurity.com

© Bosch Access Systems GmbH, 2018